

セキュリティ 自動通報装置 SC-810X

TAKEX 取扱説明書

目次

安全にお使いいただくために.....	2	機能.....	50
お使いになる前に.....	4	通報先への通報機能.....	50
機能概要.....	5	データ通報機能.....	50
各部の名前.....	6	電話による現状確認機能.....	51
設置.....	8	パソコンによる現状確認機能.....	51
カバーの開け方.....	8	DTMF コマンド受信機能.....	52
カバーのロックのしかた.....	8	ハンズフリー通話機能.....	54
取り付け.....	8	保守.....	55
停電用内部電池の取り付け.....	9	停電用内部電池の交換.....	55
接続.....	10	主な仕様.....	56
端子接続.....	10	故障とお考えになる前に.....	57
回線接続.....	11	保証とアフターサービス.....	裏表紙
USB 接続.....	11		
動作.....	12		
動作モードについて.....	12		
監視モード.....	13		
基本設定モード.....	13		
特殊設定モード.....	36		
設定ツールモード.....	45		
任意音声モード.....	45		
履歴モード.....	49		



竹中エンジニアリング株式会社

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。

ワンポイント

この表示は、本製品を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。



警告

ご使用にあたって

本装置がぬれたり、水が入らないようご注意ください。また、ぬれた手で本装置を操作しないでください。

火災・感電・故障の原因になります。

本装置のケースをはずしたり、改造しないでください。

火災・感電・故障の原因になります。内部の点検・清掃・修理は、当社のサービス担当にご依頼ください。

本装置の通風口などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。万一、異物が入ったときは、電源供給を停止して当社のサービス担当にご連絡ください。



警告

電源について

AC100V端子およびDC入力端子以外には、絶対に接続しないでください。

火災・感電・故障の原因になります。

通電中は端子に触れたり、ドライバーでの接触をしないでください。

感電の原因になります。

アースは確実に取り付けてください。

コード故障や漏電があった場合、感電の原因となります。

タコ足配線で使用しないでください。

火災・感電の原因になります。

停電用内部電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。

停電用内部電池の破裂、液漏れにより火災・けがの原因になります。



警告

設置場所や環境について
設置にあたって

本装置のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類をおかないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。万一、異物が入った場合は、電源供給を停止して当社のサービス担当にご連絡ください。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

倒れたり、落下してけがの原因になります。

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。

火災・感電・故障の原因になります。

**警告**

こんなときは（対処のしかた）

動作が異常、音が出ないなど故障状態のままで使用しないでください。
すぐに電源供給を停止して、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

煙が出ている、変な臭いがするなど異常状態のまま使用しないでください。

すぐに電源供給を停止して、煙が出なくなることを確認して当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

内部に水が入った場合は、使用しないでください。

すぐに電源供給を停止して、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、使用しないでください。

すぐに電源供給を停止して、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

**注意**

使用方法・設置環境について

直射日光の当たる場所や温度の高いところに置かないでください。

内部の温度が上がり、火災の原因になります。

密閉したところに置かないでください。また、テーブルクロスや座布団などで通風口をふさがないでください。

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源供給を停止してください。

絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になることがあります。

近くに雷が発生したときは、電源供給を停止して、ご使用を控えてください。

雷によっては、火災・感電の原因になることがあります。

**お願い**

使用方法・設置環境について

落としたり強い衝撃を加えないでください。

機器の破損・故障の原因になることがあります。

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。

汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でカラぶきをしてください。

極端に寒いところ、ちりやほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所に置かないでください。

機器の破損・故障の原因になることがあります。

テレビ・ラジオ・こたつ・アンブ・スピーカボックス・電気カーベットのなど磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。

機器の破損・故障の原因になることがあります。

免責事項について

- * 弊社の商品は各種の監視、警戒、報知、起動、威嚇、忌避、制御、護身、ヘルスケア用途などに使用するもので盗難防止器、犯行防止器、災害防止器、環境破壊防止器、人身事故防止器ではありません。万一発生した盗難事故、人身事故、災害事故、環境破壊事故、施工上の不備などによる事故損害については責任を負いかねます。
- * 本商品の取り付け、取りはずし時の事故で発生した怪我、損害については、弊社は一切の責任を負いません。
- * 本商品の取り付け、取りはずしによる建物などへの損害については、弊社は一切の責任を負いません。
- * 地震・雷（誘導雷サージを含む）および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- * 本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信上の損失・機械消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- * 保守点検や施工上の不備、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- * 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作（誤報・失報を含む）などから生じた損害に関しては、弊社は一切の責任を負いません。
- * 本商品に関していかなる場合も、弊社の費用負担は本商品の価格内とします。

- 本機の仕様は国内向けになっていますので、海外でご利用いただくことはできません。

This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.

お使いになる前に

本システムは、本体装置の「自動通報装置 SC-810X」（以下、「本装置」または「SC-810X」と記します。）および、SC-810X と USB ケーブルで接続して、設定変更や通報履歴を取得するソフトウェア「SC-810X 設定ツール」（以下、「設定ツール」と記します。）で構成されます。

■ セットの確認

次のものがそろっていることをご確認ください。万一、足りないものがあったり、取扱説明書に落丁・乱丁があったときには、販売店または当社営業所へご連絡ください。

- ・製品本体
- ・壁かけ用ネジ（4 本）
- ・停電用内部電池（1 個）
- ・取扱説明書（本書）

■ 内部電池について

本装置の内部電池には停電補償用の電池と時計用の電池の 2 種類があります。

● 停電用内部電池

- ・ AC 電源を接続してから、約 140 時間で充電を完了します。（周囲温度 23℃の場合）
- ・ 充電完了状態で停電したとき、最大 30 分間で最低 2 回の通報ができます。（周囲温度 23℃の場合）
※ 2 回の通報には停電通報も含めます。
- ・ 長時間の停電に対処したいときは、市販の停電用外部電源を別途用意して、端子台に接続してください。接続については「端子接続」（10 ページ）を参照してください。
※ 本装置から停電用外部電源に充電は行いません。

STOP お願い

- 停電用内部電池はご購入後 3 年を目途に交換してください。詳細は「保守 停電用内部電池の交換」（55 ページ）を参照してください。

● 時計用内部電池

- ・ 電圧が低下すると時計用電池電圧低下通報を行います。電池の交換が必要となりますので、すみやかに最寄りの当社営業所にご連絡ください。
- ・ 時計用電池スイッチは工場出荷時、OFF にしてあります。使用前に必ず ON にしてください。



STOP お願い

- 時計用電池スイッチが OFF の状態や電圧が低下した状態で長時間停電すると、内蔵の時計 IC がリセット状態になり、定期通報が正常にできなくなります。
- 本装置を長期間保管される場合は、時計用電池スイッチを OFF にしてください。保管後、再度ご使用の際は、年月日・時刻を正しく設定してください。

■ 設定ツールについて

設定ツールは設定作業を容易にするためのツールです。

パソコンを使用して、設定パラメータの書込／読込のほか、ファイルへの保存／読込が可能です。

設定ツールをインストールしたパソコンと本装置を、USB 接続してからご使用ください。USB ケーブルについては、お客様にて市販品をお求めください。

設定ツールは、当社のホームページからダウンロードしてから、インストールしてください。

【竹中エンジニアリングホームページアドレス】

<http://www.take-ex-eng.co.jp/ja/>

STOP お願い

- USB ケーブルは市販の「USB(A) オスー USB(mini-B) オス」タイプの商品をご用意ください。
- 設定ツールで本装置と通信中に、本装置の電源を OFF したり、本装置のキー操作をしたり、またはケーブルを抜くようなことはしないでください。正しく設定できない恐れがあります。
- 設定ツールの【時計設定】で設定される日付及び時刻は、設定ツールが起動しているパソコンの日時です。実行前にご使用のパソコンの日付、時刻を確認してください。
- 設定ツールで【設定初期化】を実行すると、本装置の現在時刻もリセットされます。したがって、【設定初期化】実行後は【時計設定】を実行してください。

■ 別売品について

別売品として、以下の商品を準備しています。販売店または当社営業所にお問い合わせください。

● 自動通報集中監視ソフト SC-PCS

遠隔のパソコンに SC-PCS をインストールして、「通報データ変換装置 SC-PCIF」と併用することで、最大 100 台の SC-810X を集中監視することができます。

● 通報データ変換装置 SC-PCIF

「自動通報集中監視ソフト SC-PCS」がインストールされた遠隔のパソコンへ、データ通報する場合に必要です。

● 集音マイク SMT-1,SMT-2

設置場所の音声や異常音を離れた所からモニターすることができます。

● 外部スピーカ SP-600A

遠隔から現場への指示や侵入者への肉声による威嚇ができます。

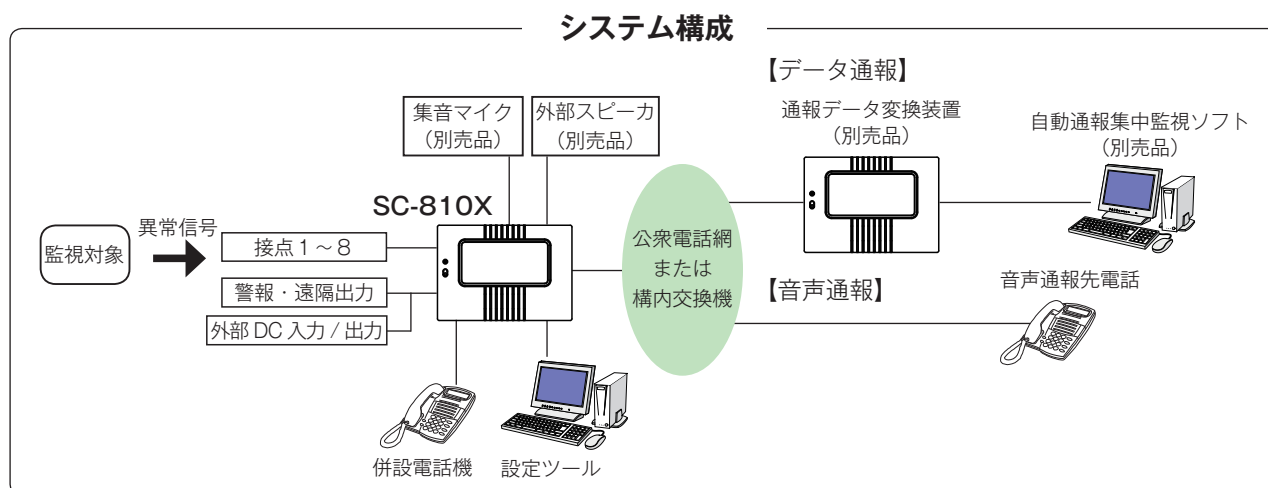
■ SC-810X の機能について（こんなことができます）

SC-810X は、接点入力信号を利用して現場の異常などの検出を行い、電話回線を経由して遠隔地へ音声やデータで通報するローカル監視型通報装置です。本装置では、おもに次のことができます。

- **一般加入電話回線に接続できます。**
 - ・ 現在ご使用の電話回線に接続できますので、電話回線の新設が不要です。
- **1 台で 8 点までの異常入力を通報できます。**
 - ・ 設備機器の点数に応じて最大 8 点まで監視できます。
 - ・ 各入力ごとに通報先が選択できます。
- **通報先は 10 か所まで登録できます。**
 - ・ 簡単なキー操作で通報先が最大 10 か所まで登録できます。
 - ・ 通報先ごとに電話（音声通報）、パソコン（データ通報）の選択ができます。
- **異常通報を記憶します。**
 - ・ 過去 29 回までの異常通報情報を記憶しているため、異常原因の調査に役立ちます。
- **誤発報が防止できます。**
 - ・ 各入力ごとに判定時間を設定できるため、ノイズによる誤発報が防止できます。
- **音声通報内容が変更できます。**
 - ・ 固定のメッセージ以外に、お客様にて任意のメッセージを録音、確認できるため、わかりやすい異常通報ができます。
- **異常状態を外部から確認できます。**
 - ・ 電話またはパソコンを利用して、現在の異常状態を音声またはデータで確認できます。
- **停電通報機能があります。**
 - ・ 停電検出回路と停電用内部電池により、停電発生後もしばらくの間通報ができます。
 - ※ 停電用内部電池については 9 ページ、55 ページを参照してください。
- **通報の抑制ができます。**
 - ・ 監視時間帯が設定できるため、深夜や勤務時間中の通報が抑制できます。
- **遠隔出力（制御）ができます。**
 - ・ 遠隔から電話回線による DTMF コマンドにより、リレー出力のオン、オフ制御ができます。
 - ・ 出力保持、出力解除、本体または遠隔により指定した時間、遠隔出力を制御することができます。

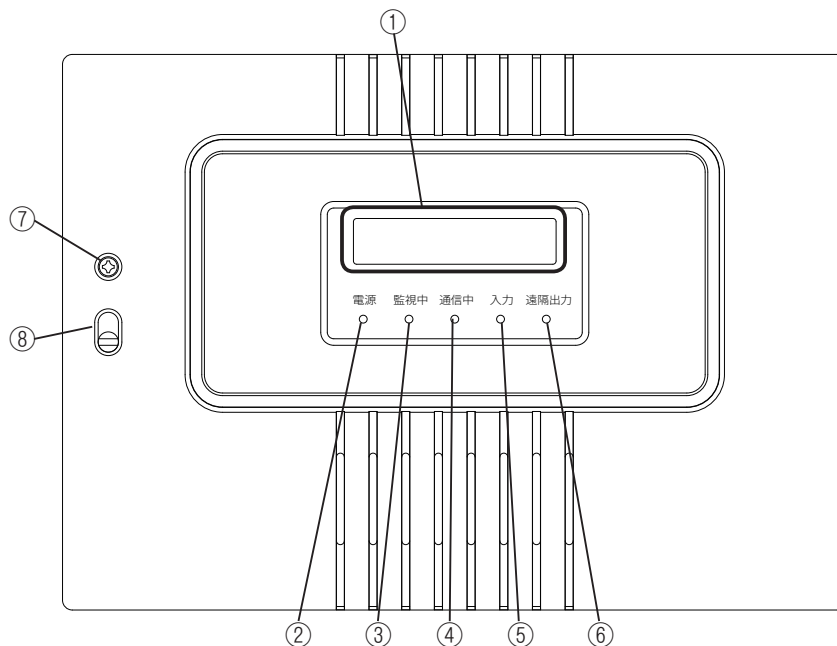
■ システム構成

基本構成は下図のとおりです。異常信号発生時、通報先電話への音声通報や自動通報集中監視ソフトをインストールしたパソコンへのデータ通報を行うことができます。また設定ツールをインストールしたパソコンと市販の USB ケーブルを使用した USB 接続により、本装置の設定が容易に行えます。



各部の名前

操作部

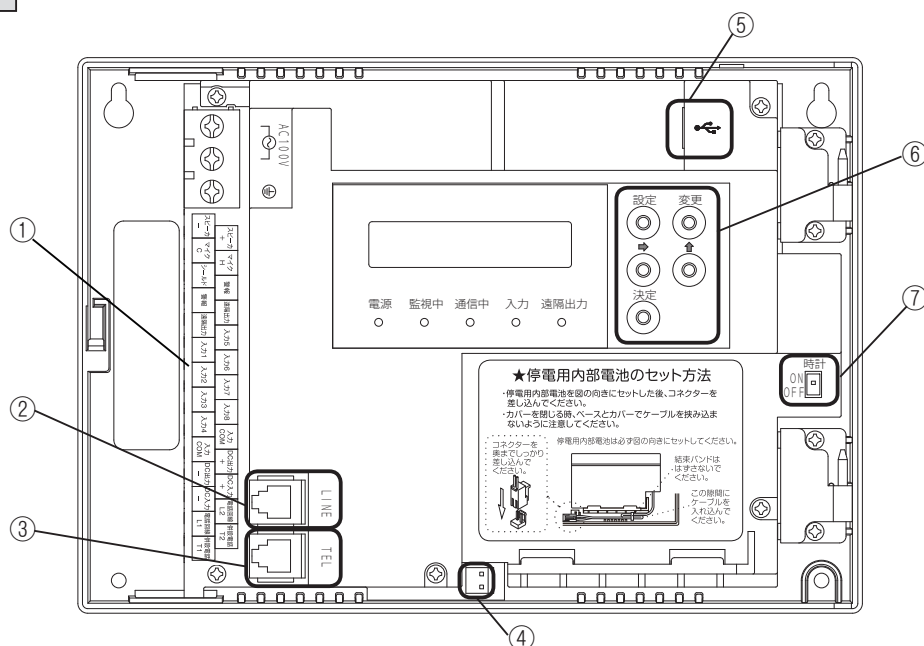


番号	名称	主なはたらき	備考
①	表示用 LCD	本装置の設定値や通報履歴などの情報を表示します。	
②	電源ランプ	電源が入っているとき点灯（緑色）します。	
③	監視中ランプ	本装置が監視中のとき点灯（緑色）します。 消灯しているときは異常が接点入力しても通報しません。	
④	通信中ランプ	通報中点灯（橙色）します。リトライ中は点滅します。	
⑤	入力ランプ	接点入力のいずれかが入力されたときに点灯（赤色）します。 自動または手動で消灯できます。	※ 1
⑥	遠隔出力ランプ	遠隔出力中（遠隔出力 ON）のとき点灯（橙色）します。	※ 2
⑦	ロックネジ	ロックレバーがスライドしないように市販のプラスドライバーで施錠することができます。	
⑧	ロックレバー	レバーを上方向へスライドさせることで、カバーを開けることができます。	






※ 1：消灯の方法については、「入力 LED クリア」（基本設定モードレベル 2）の設定値によります。詳細については 32 ページを参照してください。

※ 2：遠隔出力 ON については、「DTMF コマンド受信機能 暗証番号による操作制限ができるコマンド」（53 ページ）を参照してください。

機器内部



※ 接続端子や接点などは、「接続 端子接続」(10 ページ) を参照してください。

番号	名称		主なはたらき	備考
①	端子表示ラベル		接続端子や接点などの位置を表示します。ラベルをめくことで接続端子や接点の接続ができます。	
②	LINE コネクタ		音声通報やデータ通報を行う電話回線と接続するためのコネクタです。	モジュージャック
③	TEL コネクタ		併設電話機を接続するためのコネクタです。	モジュージャック
④	停電用内部電池コネクタ		停電補償用の電池を接続するためのコネクタです。	
⑤	USB コネクタ		設定ツールをインストールしたパソコンと本装置を接続するためのコネクタです。	
⑥	操作キー		各種の動作モード（※ 1）への切替えなどに使用します。	設定キー
			設定値の変更などに使用します。	変更キー
			設定項目を選択するときなどに使用します。	シフトキー
			設定値を変更するときなどに使用します。	アップキー
			設定項目や設定値を更新するときなどに使用します。	決定キー
⑦	時計用電池スイッチ		時計用内部電池を有効にするスイッチです。	※ 2

※ 1：各種の動作モードについては、「動作モードについて」(12 ページ) を参照してください。

※ 2：本装置をご使用になる前に、必ず ON に設定してください。

設置

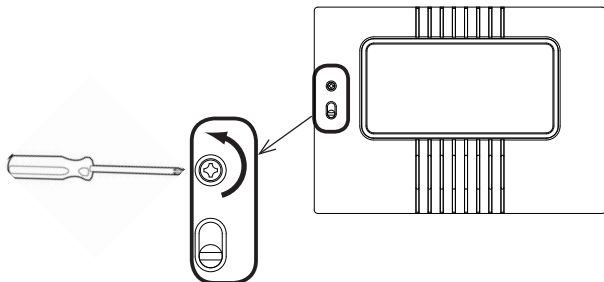
カバーの開け方

- 1 ロックレバーを上方にスライドさせます。

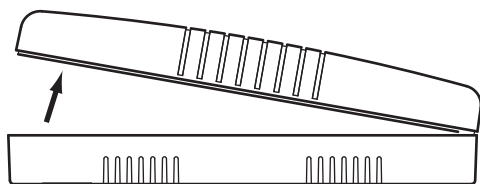


- 2 カバーがロックされている場合は、プラスドライバーを
ロックネジに差し込んで、反時計回りに90度回転します。

* プラスドライバーはお客様にてご用意願います。



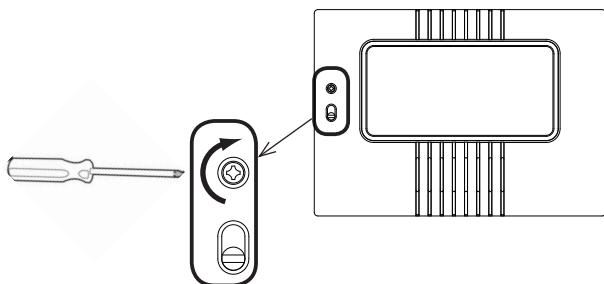
- 3 ロックレバーを上方にスライドさせたままで、カバーを開きます。



カバーのロックのしかた

- 1 プラスドライバーをロックネジに差し込んで、時計回りに90度回転します。

* プラスドライバーはお客様にてご用意願います。

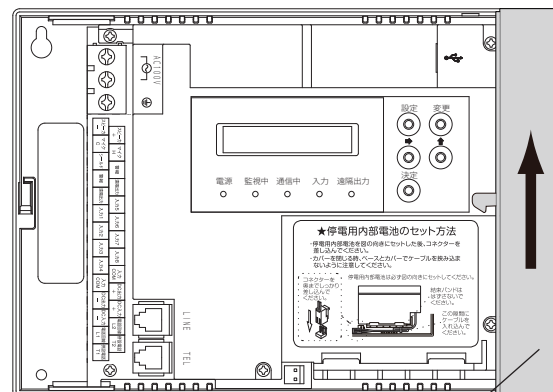


取り付け

- 1 カバーを開けます。

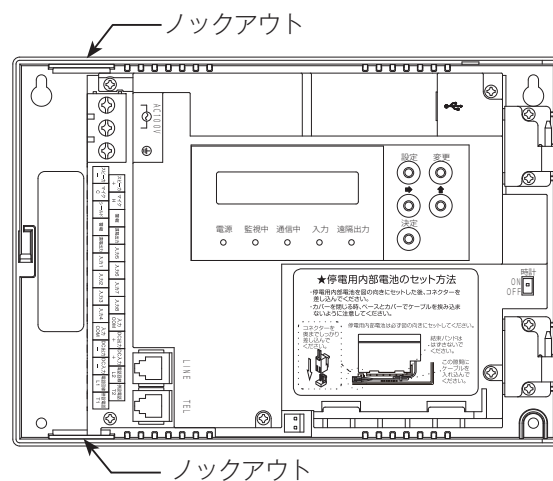
* カバーの開け方は、本ページをご覧ください。

- 2 カバーをはずします。

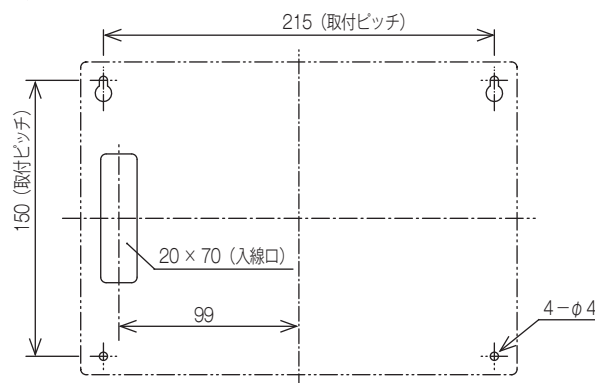


- ① カバーを矢印方向にずらして、はずします。

- 3 露出配線の場合は、必要な側のノックアウトをやぶってください。

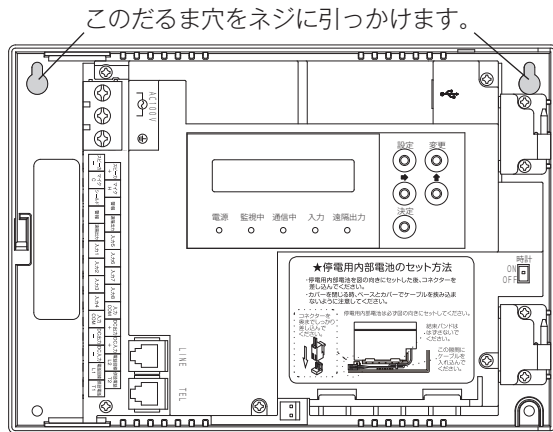


- 4 下図を参照の上、取り付け位置にネジ位置をマーキングします。

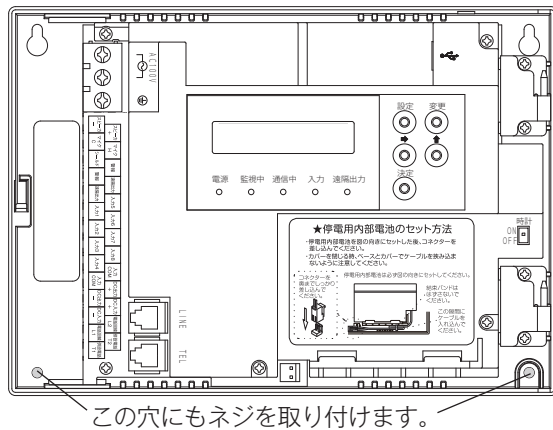


- 5 付属の壁掛け用ネジ2本を、上部2ヶ所にねじ込みます。
首下は、4～5mmあけておきます。

6 「5」のネジに、本装置上部のだるま穴2ヶ所を引っかけます。



7 本装置下部の2ヶ所の穴にもネジを取り付け、全てのネジをしっかりと締め付けます。



8 「接続」(10 ページ)をご参照の上、電源・電話回線・センサーなどを接続します。

9 カバーを取り付けます。

10 カバーを閉めます。

11 必要に応じてカバーをロックします。

* カバーのロックのしかたは、8 ページをご覧ください。

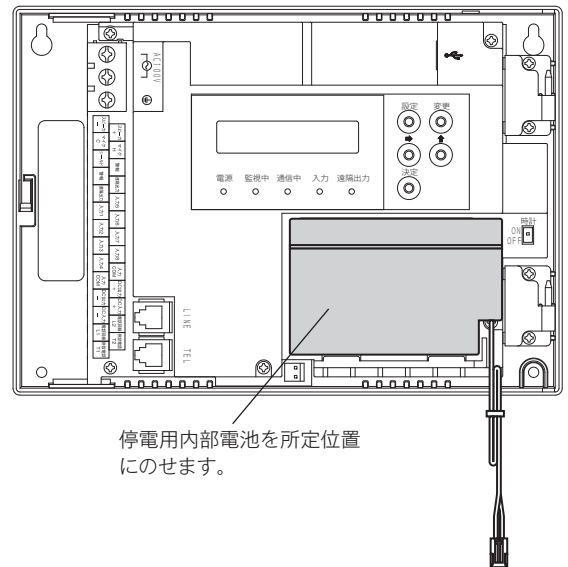
STOP お願い

- 合板や石膏ボードなどの薄い板壁には直接取り付けしないでください。はずれて落下するおそれがあります。

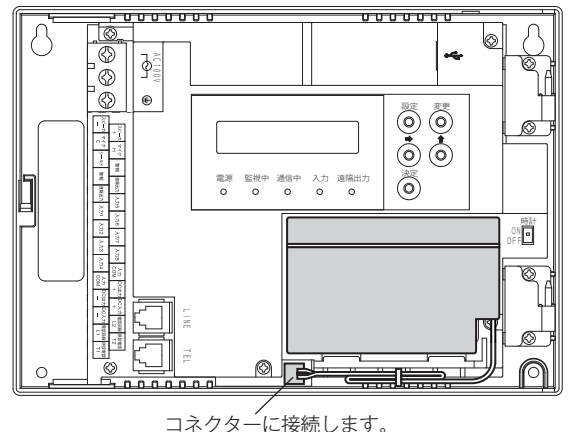
停電用内部電池の取り付け

停電用内部電池は次のようにして取り付けます。

- 1 本装置の電源供給を停止します。
- 2 カバーを開けます。
* カバーの開け方は、8 ページをご覧ください。
- 3 停電用内部電池をのせます。



4 停電用内部電池の結束をコネクタに差し込みます。



5 カバーを閉めて、本装置の電源供給を開始します。

6 必要に応じてカバーをロックします。

* カバーのロックのしかたは、8 ページをご覧ください。

STOP お願い

- 停電用内部電池の結束バンドははずさないでください。線力ミなどの思わぬトラブルの原因になります。

ワンポイント

- 停電用内部電池について
 - ・ 停電補償時間 …… 最大30分（2回通報処理）

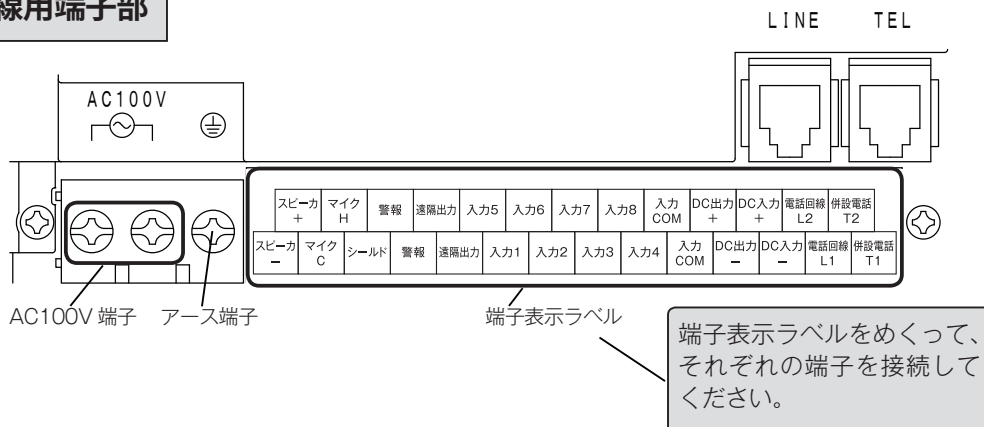
接続

端子接続

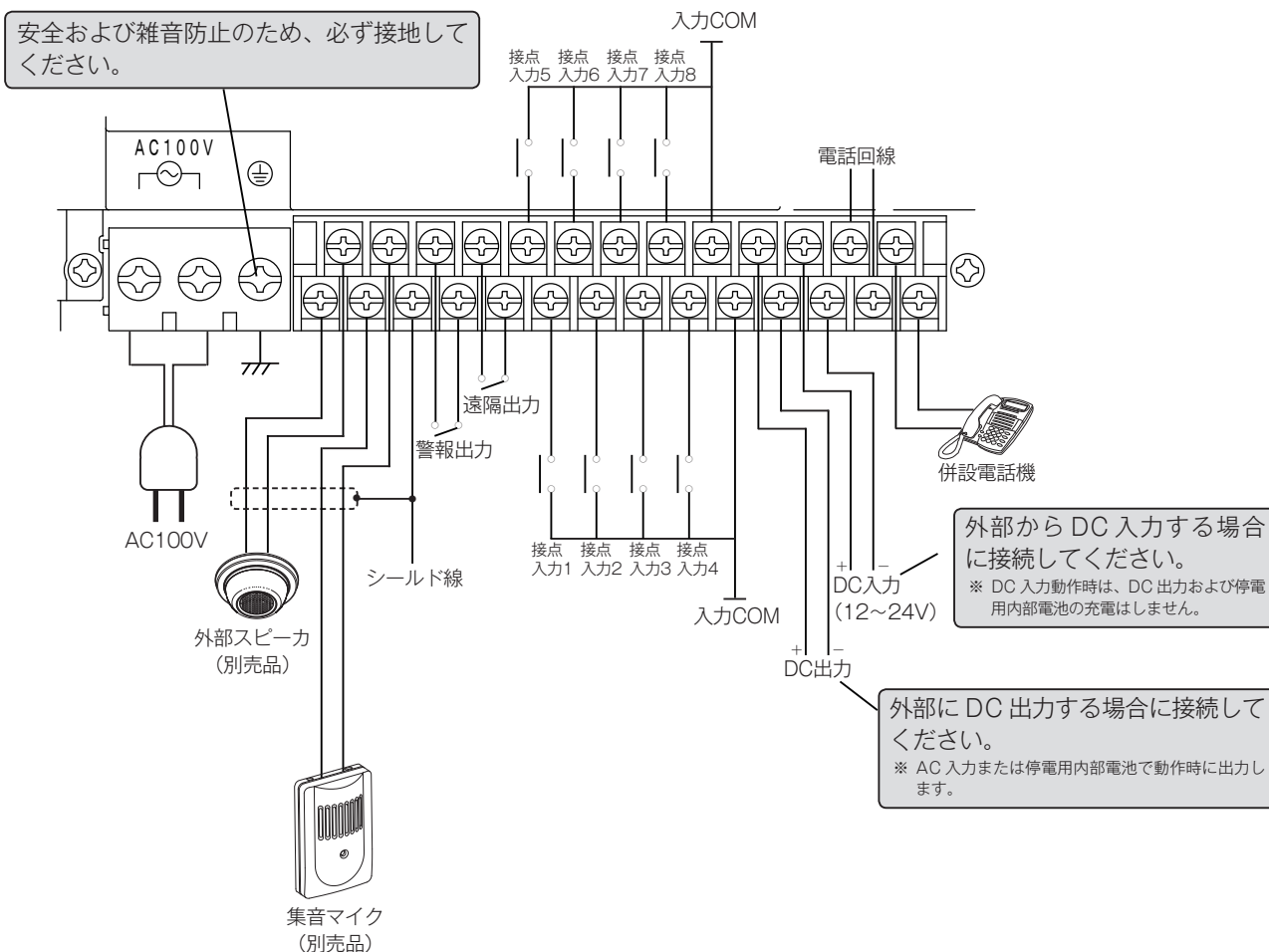
電源、電話回線、入力端子などを接続します。

- 電話回線と併設電話機の接続端子は、ネジ止め端子とモジュージャックがそれぞれ並列になっています。どちらの端子に接続しても使用できます。

配線用端子部



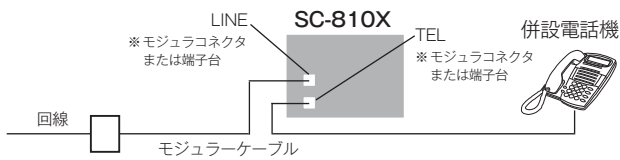
【接続イメージ】



回線接続

■ 基本接続

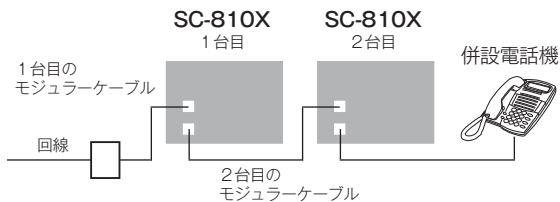
TEL コネクタ、又は端子（T1、T2）へ併設電話等の機器を接続して使用する場合（モジュラーケーブルによる接続例）



■ 増設接続

1 回線につき本装置と併設電話を含めて、合計 3 台まで増設できます。

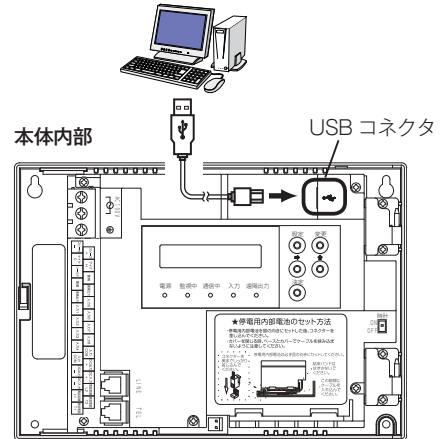
【増設接続（3 台）の例】（本装置 2 台と併設電話の接続）



このように本装置を複数台接続した場合は、外部からの現状確認を行うと、希望の SC-810X に着信できない場合があります。

USB 接続

設定ツールをインストールしたパソコンと本装置は、USB ケーブル（市販品）で接続できます。本体内部の USB コネクタに USB ケーブルを接続してください。



※ 本体カバーの開け方は、「設置 カバーの開け方」(8 ページ)を参照してください。

STOP お願い

- USB ケーブルは市販の「USB(A) オスー USB(mini-B) オス」タイプの商品をご用意ください。

STOP お願い

- モジュラコネクタ (LINE) と端子台の電話回線 (L1, L2) には片方しか接続しないでください。また、これらの端子に併設電話機は絶対に接続しないでください。接続されますと、通報できない恐れがあります。
- モジュラコネクタ (TEL) と端子台の併設電話端子 (T1, T2) には片方しか接続しないでください。
- 電話回線がモジュラコネクタ方式になっていない場合、または SC-810X の端子台に接続する場合は、配線作業者にアナログ 3 種以上の資格が必要です。

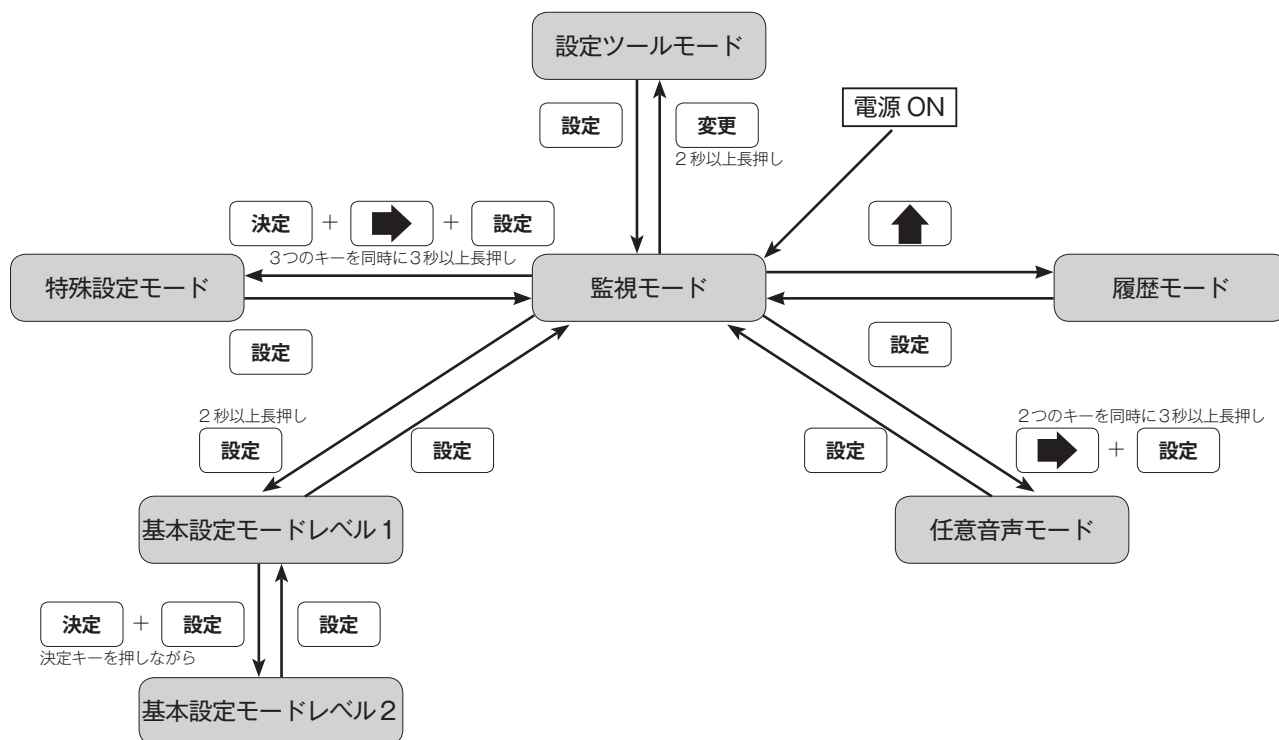
動作

動作モードについて

動作モードには下記の 6 種類のモードがあります。

- ① 監視モード : 接点入力 of 監視や通報を行うためのモード
- ② 基本設定モード : 各種の設定を行うためのモード、設定内容により基本設定モードレベル 1 と基本設定モードレベル 2 の 2 種類があります
- ③ 特殊設定モード : 特殊な設定を行うためのモード
- ④ 設定ツールモード : SC-810X 設定ツールから本装置に USB 接続して設定の書き込み・読み込み等をするためのモード
- ⑤ 任意音声モード : 通報メッセージに使用する任意音声の録音・消去・再生するためのモード
- ⑥ 履歴モード : 異常通報の履歴を確認するためのモード

【各種モード間の移行イメージ】



ワンポイント

- 「通報先電話番号」(基本設定モードレベル 1) を設定していないと、履歴モード・特殊設定モード・任意音声モードへの切り替えができません。
- 監視モード以外の状態(※ 1)で、10 分間キー操作をしない場合、自動的に監視モードに戻ります。このときに 決定 により変更した設定値は登録されて監視モードに戻ります。
 - ※ 1: 以下の場合を除かれて、10 分間キー操作がなくても監視モードに戻りません。
 - ・ 設定ツールモード中の USB 通信中
 - ・ 任意音声モード中の任意音声メッセージの録音中および再生中

監視モード

監視モードは、接点入力の監視や通報を行うためのモードです。外部から電話をかけて音声にて接点入力の確認をすることもできます。

● 電源を入れたとき

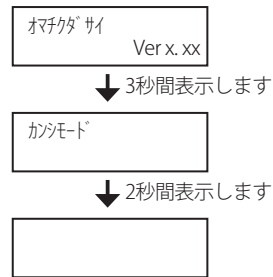
電源を入れたとき、ディスプレイは次のように表示されます。

※「Ver x.xx」はファーム・バージョンになります。

【未設定のとき】

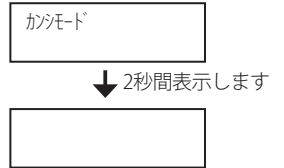


【通報先電話番号が設定済みのとき】



● 他のモードから移行したとき

基本設定モードや履歴モードなどから移行したとき、ディスプレイは2秒間「カシモード」と表示されたあと、自動的にクリアされます。



📌 ワンポイント

- 基本設定モードから監視モードに移行したとき、通話先電話番号が設定されていないと、以下の画面が表示されます。

TELセツイカ アリマセン

基本設定モード レベル 1 から通話先の電話番号を設定してください。

- 基本設定モードや特殊設定モードなどで、設定項目を変更したあとに監視モードに移行したとき、1秒間以下の画面が表示され、自動的にクリアされます。

データリセット
シバク オマチカダサイ

基本設定モード

■ 基本設定モードレベル 1

基本設定モードレベル 1 で設定できる項目は下記になります。

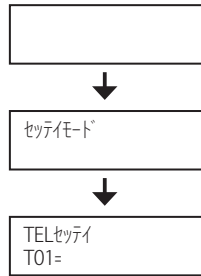
設定項目	設定内容	設定範囲	初期値	参照ページ
通報先電話番号	通報先の電話番号を 10 か所まで設定できます。	入力桁数：最大 20 桁 入力範囲：0～9, "#", "*", "－", "P" (2 秒ポーズ), " " (スペース)	なし	14
通報先種別	通報先の種別を通報先 1～10 についてそれぞれ選択します。	オセイ 1 (メッセージ繰り返し回数＝3 回), オセイ 2 (メッセージ繰り返し回数＝10 回), データ	オセイ 1	15
通報先着信判定	通報先の着信判定方法を通報先 1～10 についてそれぞれ選択します。	パターン A (音声信号＋極性反転), パターン B (極性反転のみ), パターン C (音声信号のみ), パターン D (無条件 5 秒)	パターン A	16
現場 No.	現場番号を設定します。	00000～99999	00000	16
現在日時	時計を設定します。時計用電池スイッチを必ず ON にしてください。	'13/01/01 00:00～'99/12/31 23:59 ※うるう年および月の日数は、自動判定します	'13/01/01 00:00	17
回線設定	接続する回線の種別を設定します。	ダイヤル 10pps, ダイヤル 20pps, プッシュ	ダイヤル 10pps	18

● 通報先電話番号の設定

※ 通報先 1 に「0312345678」を設定する例

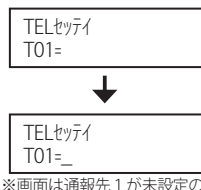
- 1 監視モードのとき、**設定** を 2 秒間長押しします。

- ・【セッテイモード】が 2 秒間表示されたあと、自動的に【TEL セッテイ】が表示されます。



- 2 設定項目が【TEL セッテイ】であることを確認して、**変更** を押しします。

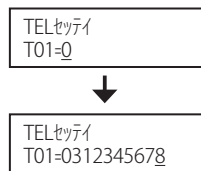
- ・ 1 桁目にカーソル（“_”）が表示されます。
- ・ 未設定のときは、1 桁目にカーソル（“_”）だけが表示されます。



※画面は通報先 1 が未設定の例

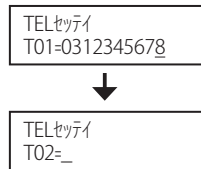
- 3 **↑** / **→** で通報先の電話番号を設定します。

- ・ **↑** での表示順序は以下です。
0→1→…→9→[#]→[*]→[-]→
[P](2秒ポーズ)→[](スペース)
- ・ **設定** + **↑** で表示順序を逆に進めることができます。



- 4 **決定** を押しします。

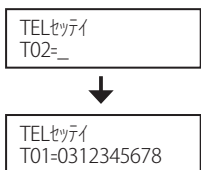
- ・ 1 番目の設定値が登録されます。
- ・ 2 番目の設定内容が表示されます。
- ・ 2 番目の設定内容を変更するときは、手順 3 と同様の手順で変更します。
- ・ 10 番目で **決定** を押すと、1 番目の設定内容が表示されます。



※画面は通報先 2 が未設定の例

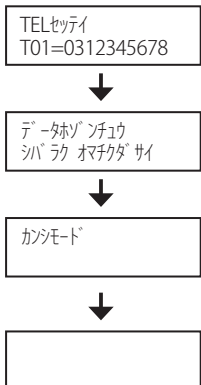
- 5 **変更** を押しします。

- ・ 1 番目の通報先が表示されます。



- 6 **設定** を押しします。

- ・ 登録内容が保存されます。
- ・ 【デ-タリ-ンチュ】が 1 秒間表示されます。
- ・ 【カンモード】が 2 秒間表示されます。



👉 ワンポイント

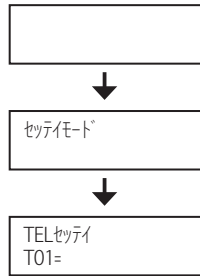
- 通報先電話番号に “ ”（スペース）だけの設定および先頭の桁を “ ”（スペース）とした設定をすると、通報先の電話番号がクリアされます。
- 通報先電話番号の途中の “ ”（スペース）や “-” はダイヤルしません。
- 回線種別が “フッシュ” 以外の場合、“#” や “*” はダイヤルしません。
- 通報先電話番号に同一の番号および 110 番、119 番は設定できません。

● 通報先種別の設定

※ 通報先 1 の通報先種別に「デ-タ」を設定する例

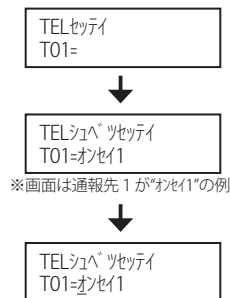
- 1 監視モードのとき、**設定** を 2 秒間長押しします。

- ・【セッテイモード】が 2 秒間表示されたあと、自動的に【TELセッテイ】が表示されます。



- 2 **➡** を押して、設定項目が【TEL シュヘツセッテイ】を選択して、**変更** を押します。

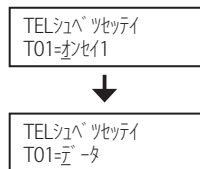
- ・設定内容にカーソル（“_”）が表示されます。



- 3 **⬆** で通報先種別を選択します。

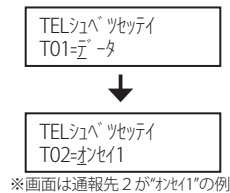
- ・**⬆** での表示順序は以下です。

オンセ1 → オンセ2 → デ-タ



- 4 **決定** を押します。

- ・1 番目の設定値が登録されます。
- ・2 番目の設定内容が表示されます。
- ・2 番目の設定内容を変更するときは、手順 3 と同様の手順で変更します。
- ・10 番目で**決定**を押すと、1 番目の設定内容が表示されます。



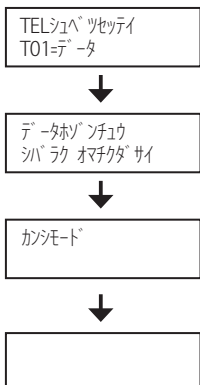
- 5 **変更** を押します。

- ・1 番目の通報先種別が表示されます。



- 6 **設定** を押します。

- ・登録内容が保存されます。
- ・【デ-タホリソチウ】が 1 秒間表示されます。
- ・【カンモ-ト】が 2 秒間表示されます。

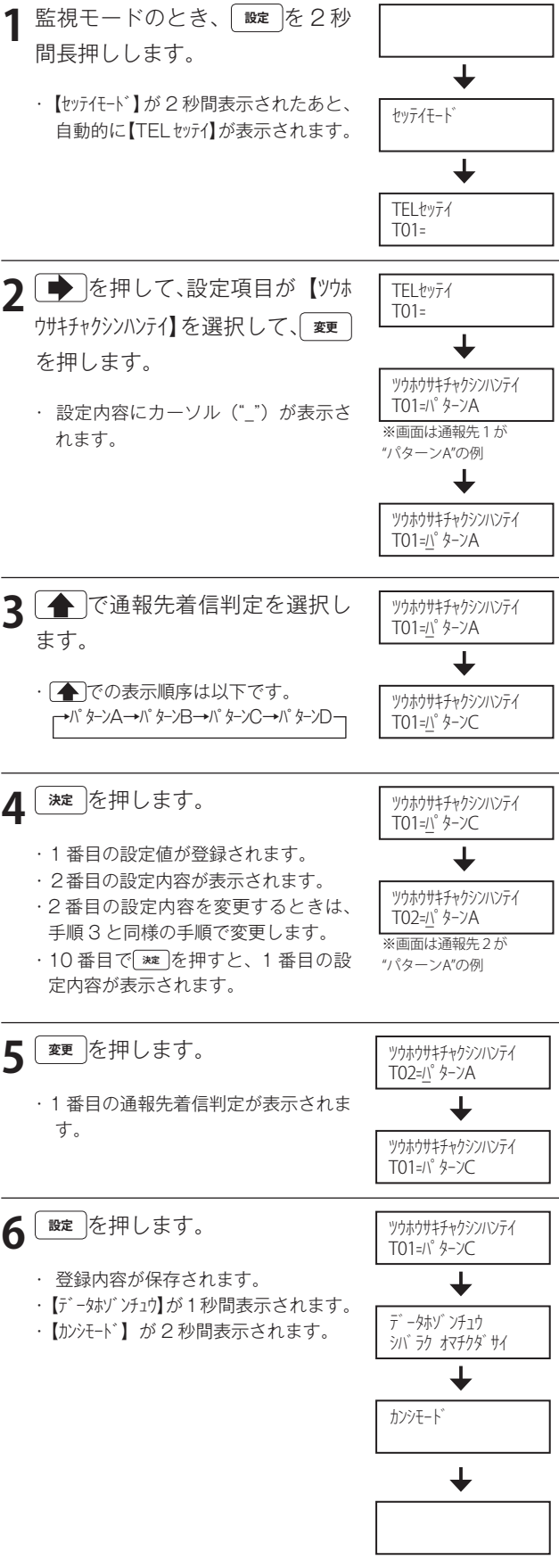


STOP お願い

- 通報先種別を“デ-タ”で設定している通報先がある場合は、通報現場 No. 桁数は“5 桁”で設定してください。詳細については 40 ページを参照してください。

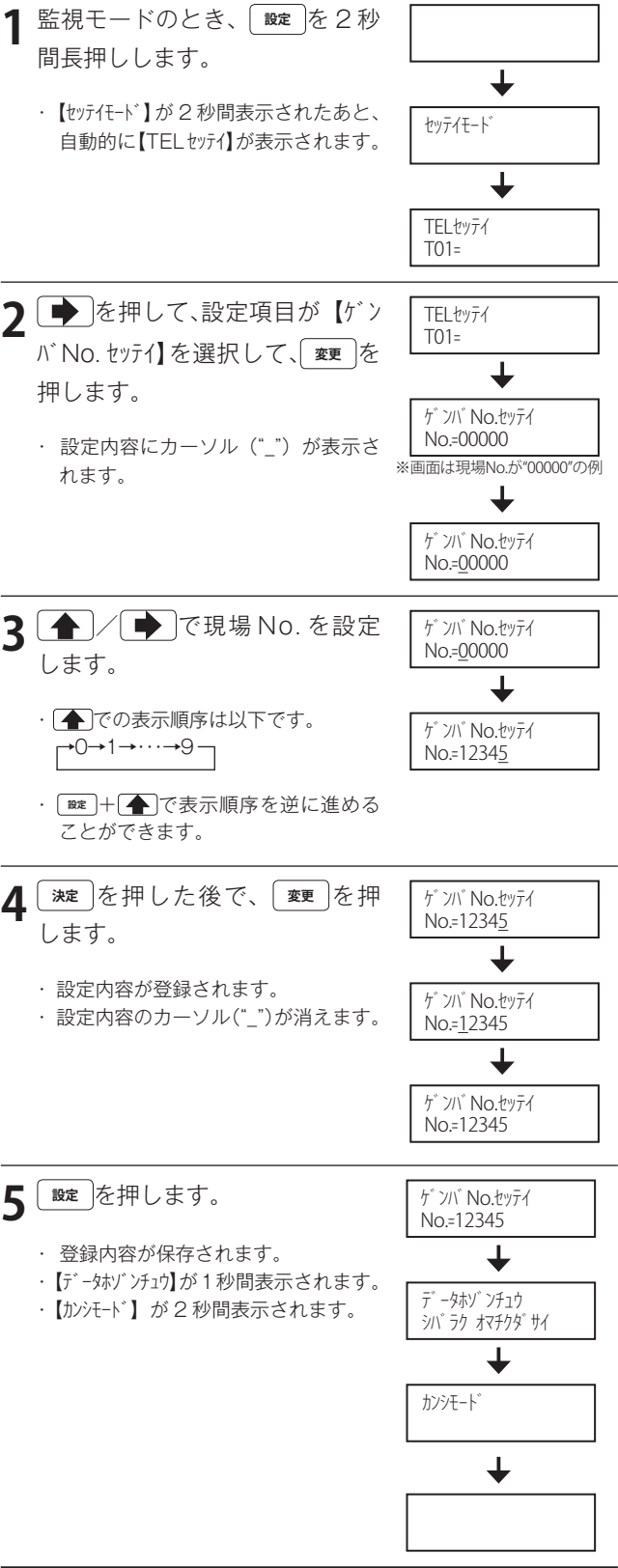
● 通報先着信判定の設定

※ 通報先 1 の通報先着信判定に「パタンC」を設定する例



● 現場 No. の設定

※ 現場 No. に「12345」を設定する例

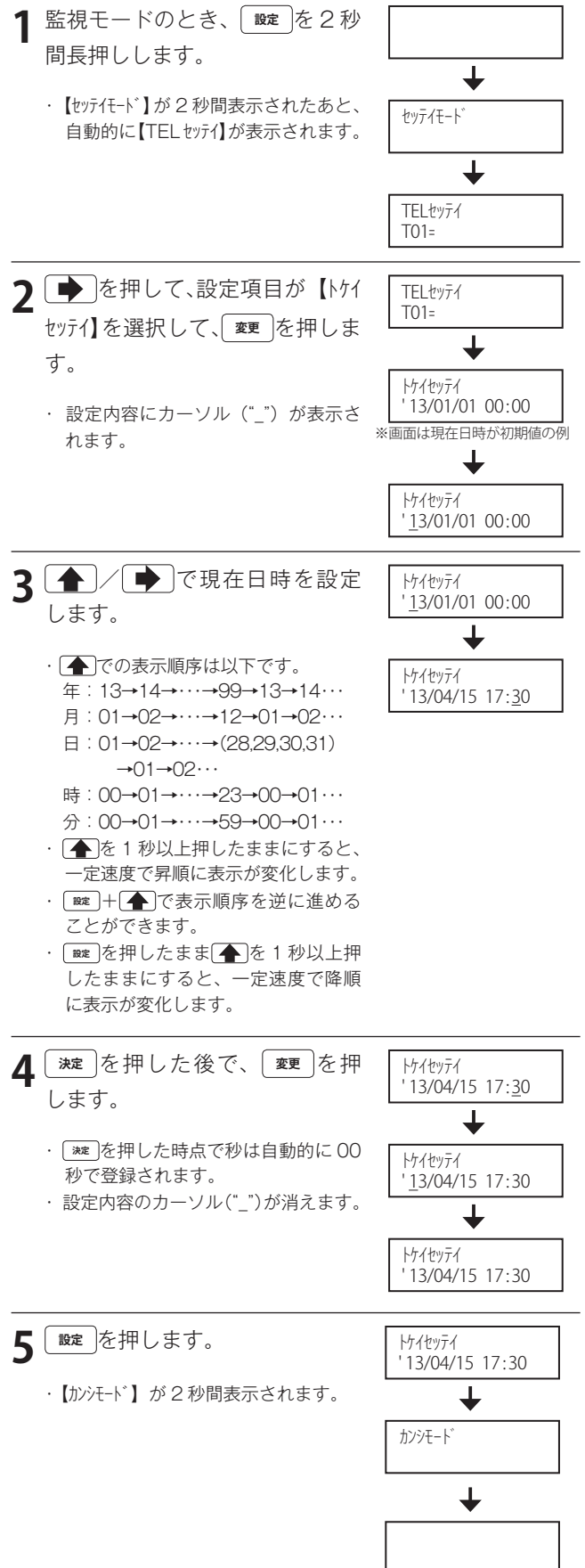


ワンポイント

- 音声通報による通報内容の現場名を、現場 No. と同様に 5 ケタとする場合は、通報現場 No. 桁数を “5 ケタ” で設定してください。詳細については 40 ページを参照してください。

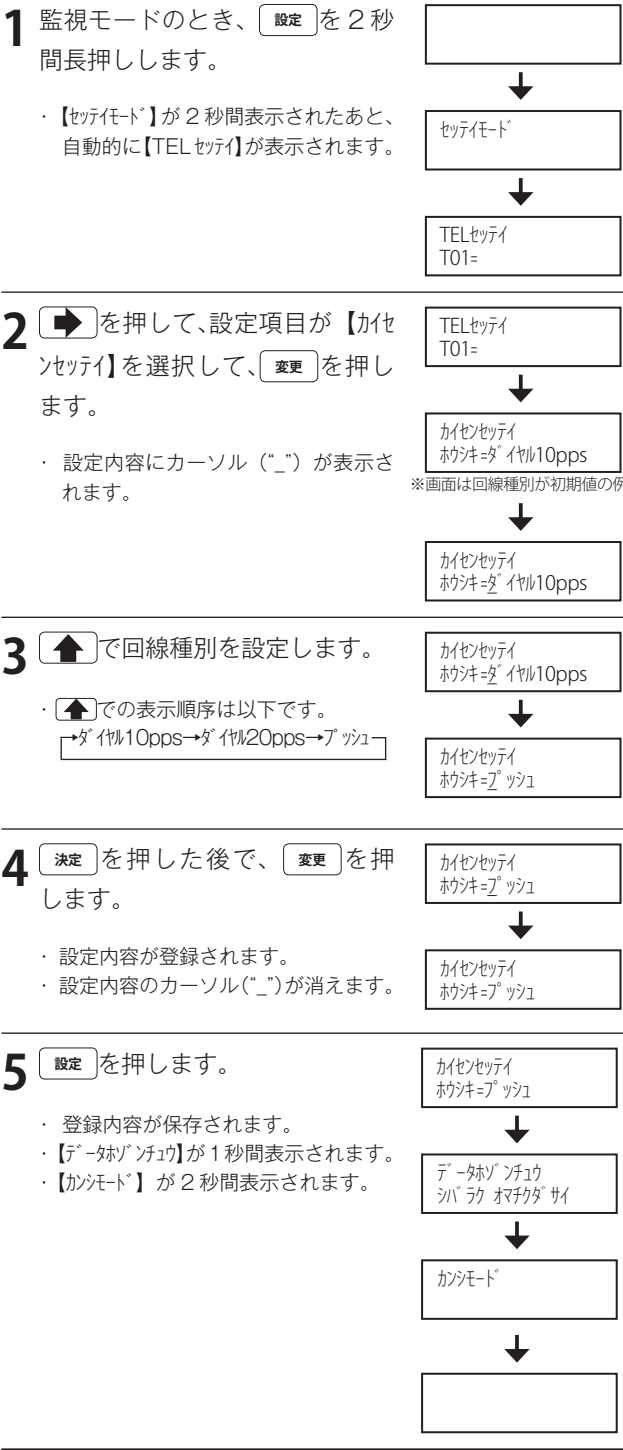
● 現在日時の設定

※ 現在日時を「2013 年 4 月 15 日 17 時 30 分」に設定する例



● 回線設定の設定

※ 回線種別を「フツシ」に設定する例



■ 基本設定モードレベル2

基本設定モードレベル2で設定できる項目は下記になります。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期値	参照ページ
リトライ回数	話中などで通報できないときの通報繰り返し回数を設定します。	0 回 ~ 99 回	5 回	20
現場名音声選択	現場名の音声を選択します。	「フィールド」、「フィールド」(注1)(注2)	「フィールド」	21
入力名音声選択	入力名の音声を各入力ごとに選択します。	「フィールド」、「フィールド」(注1)(注2)	「フィールド」	21
状態名音声選択	状態名の音声を選択します。(注3)	「フィールド」、「フィールド」(注1)(注2)	「フィールド」	22
ハンズフリー設定	ハンズフリーの有効/無効を設定します。	「是」、「否」	「否」	22
ハンズフリー通話時間	ハンズフリーの通話時間を設定します。	1min ~ 30min	3min	23
定期通報	定期通報の条件を設定します。	定期通報: 「是」、「否」 通報先: 1 ~ 10 通報時刻: 00:00 ~ 23:59 通報周期: 1 分, 7 分, 14 分, 28 分 通報曜日: 「フィールド」 ~ 「フィールド」	定期通報: 「否」 通報先: 1 ~ 10 通報時刻: 00:00 通報周期: 1 分 通報曜日: 「フィールド」	23
接点入力判定	ノイズによる誤動作防止のため、各接点ごとに入力条件を設定します。	接点状態: A, B 判定時間: 0.2s, 0.5s, 1s, 2s, 5s, 10s, 20s, 50s, 100s 通報先: 1 ~ 10	接点状態: A 判定時間: 5s 通報先: 1 ~ 10	25
接点設定コピー	コピー元の接点の入力判定条件を他の接点にコピーすることができます。	コピー: 「是」、「否」 コピー元: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8	コピー: 「否」 コピー元: 1	26
現状確認	現状確認機能の有効/無効、および、着信時の呼び出し音回数を設定します。	現状確認機能: 「是」、「否」 呼出音回数: 0 回 ~ 99 回	現状確認機能: 「否」 呼出音回数: 10 回	26
停電通報	機器の停電を指定された通報先に通報します。	通報先: 最大 10 力所 検出時間: 1s ~ 199s	通報先: 1 ~ 10 検出時間: 10s	27
時計用電池電圧低下通報	時計用電池の電圧低下を指定された通報先に通報します。	最大 10 力所	1 ~ 10	28
通報形態	通報形態を設定します。	「ドグ」、「ジュグ」	「ドグ」	29
復旧通報	接点 1 ~ 8 の復旧通報を行うかどうかを設定します。	「是」、「否」	「否」	29
停電復旧通報	停電復旧後に通報を行うかどうかを設定します。	「是」、「否」	「否」	30
DC 電源短絡検出通報	外部 DC 出力電源の短絡を検出した時に通報する通報先を設定します。	最大 10 力所	1 ~ 10	30
監視時間帯	接点の監視時間帯を設定します。	監視開始時間: 00:00 ~ 23:59 監視終了時間: 00:00 ~ 23:59	開始、終了共に 00:00	31
入力 LED クリア	入力ランプを自動的にクリアするか、手動でクリアするかを設定します。	「ジドウ」、「手動」	「ジドウ」	32
警報出力選択	警報出力の動作を設定します。	「ワンショット」、「LED ドット」	「ワンショット」	32
警報出力時間	警報出力選択で「ワンショット」を選択した場合のワンショット時間を設定します。	1s, 3s, 5s, 10s, 30s, 60s, 90s, 120s, 180s, 240s, 300s	5s	33
遠隔出力時間	DTMF コマンド受信機能(注4)におけるコマンドモード(注5)にて、遠隔出力ワンショットコマンド(#32)が入力された場合の、ワンショット時間を設定します。	1s, 3s, 5s, 10s, 30s, 60s, 90s, 120s, 180s, 240s, 300s	5s	33
本人確認	メッセージ送出以降の PB 信号「0」を検出して本人確認をするかを設定します。	「是」、「否」	「否」	34
併設電話切断	併設電話の通話中に通報が発生した場合に、通報を優先して強制切断するかを設定します。	「是」、「否」	「否」	34

注1: 「フィールド」を選択した場合は任意音声の登録が必要です。設定方法については、「任意音声モード」(45 ページ)を参照してください。

注2: 「ナ」を選択した場合や任意音声の登録をしないで「フィールド」を選択した場合は、音声がかえりません。

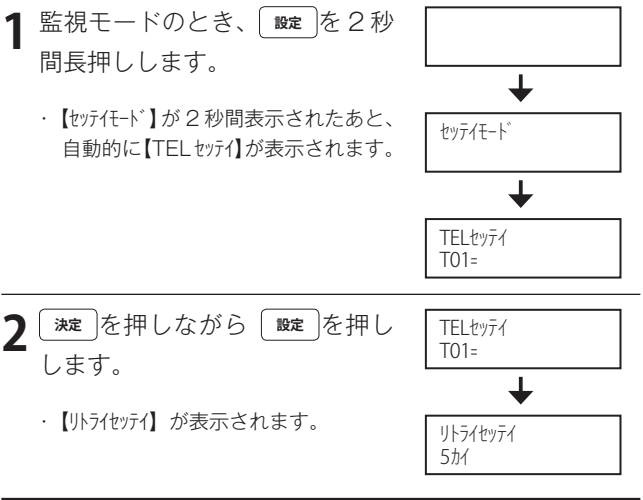
注3: 状態名の3種類すべての音声の対象となります。種類については、「任意音声モード」(45 ページ)を参照してください。

注4: DTMF コマンド受信機能については「DTMF コマンド受信機能」(52 ページ)を参照してください。

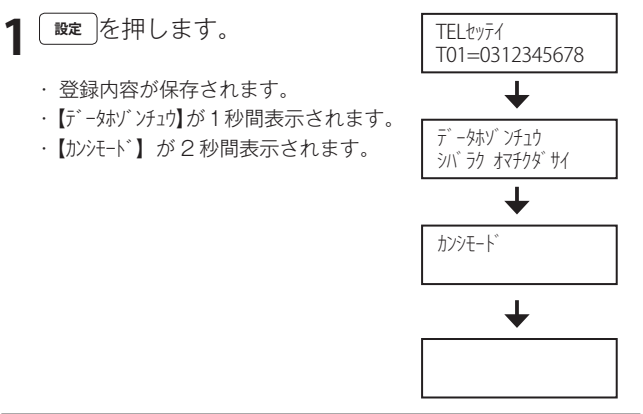
注5: コマンドモードについては「DTMF コマンド一覧」(52,53 ページ)を参照してください。

動作

● 設定項目画面の表示

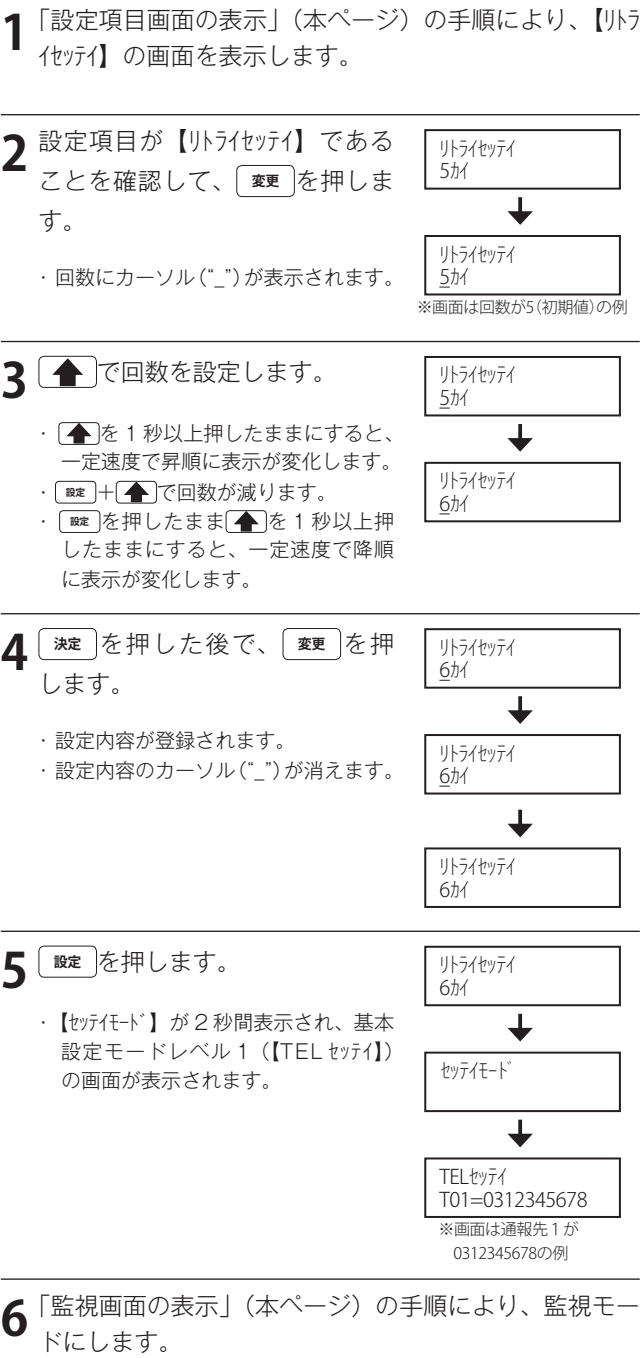


● 監視画面の表示



● リトライ回数の設定

※ リトライ回数を 6 回に変更する例



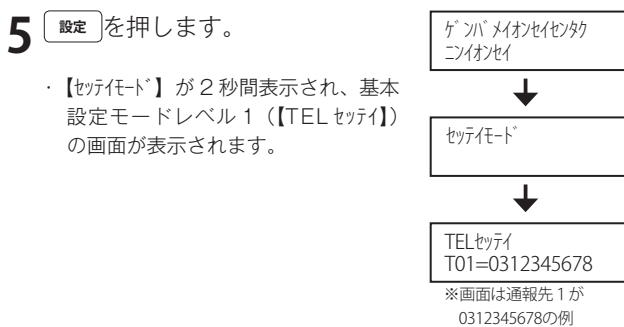
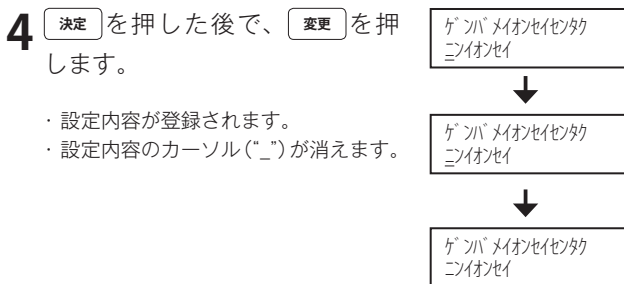
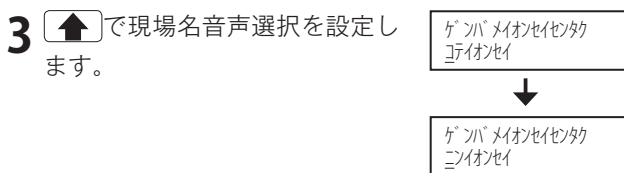
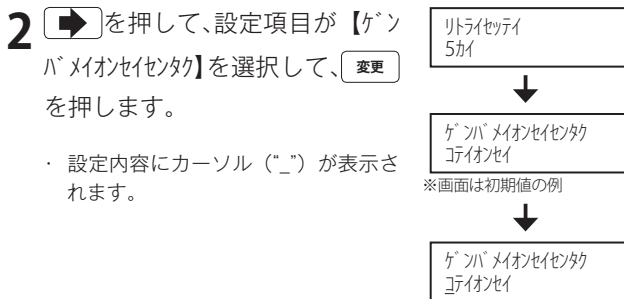
📌 ワンポイント

- リトライ間隔は 3 分、呼び出し時間は約 50 秒です。
- リトライとなるのは以下の場合があります。
 - ・ 通報先話中の場合
 - ・ 通報先不応答の場合
 - ・ 本人確認が「ス」で、PB 信号「0」未入力の場合

● 現場名音声選択の設定

※ 現場名音声選択を「ニイオンセイ」に変更する例

1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッティ】の画面を表示します。

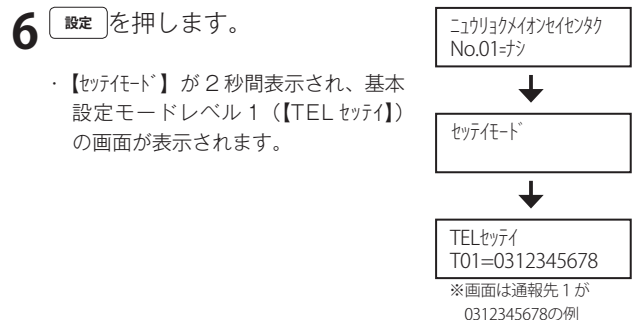
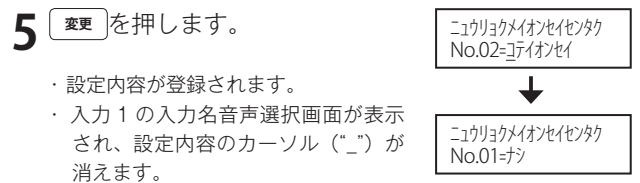
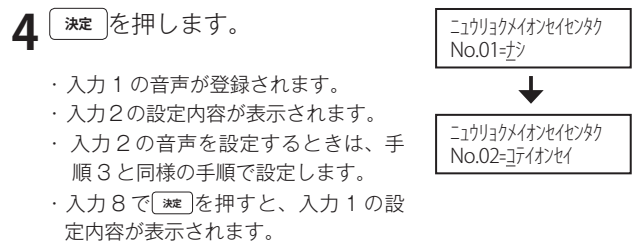
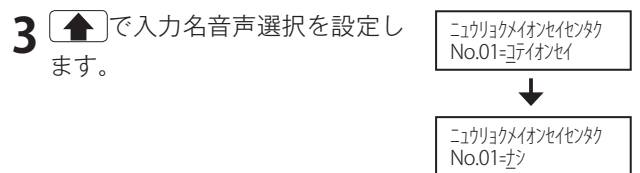
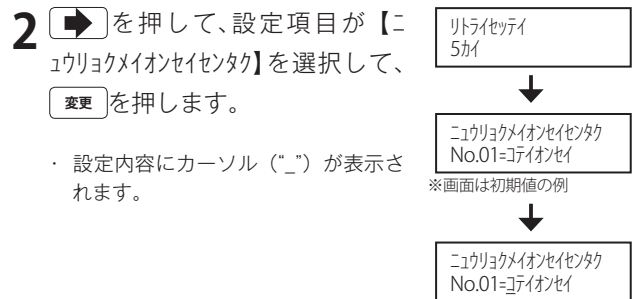


6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

● 入力名音声選択の設定

※ 入力1の入力名音声選択を「ナ」に変更する例

1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッティ】の画面を表示します。




7 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

● 状態名音声選択の設定

※ 状態名音声選択を「ニイオンセイ」に変更する例


1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッティ】の画面を表示します。

2  を押して、設定項目が【ジ ョクタイメイオンセイセンタ ヲイオンセイ】を選択して、**変更** を押します。

- ・ 設定内容にカーソル (“_”) が表示されます。

リトライセッティ
5かいジ ョクタイメイオンセイセンタ
ヲイオンセイ

※画面は初期値の例

ジ ョクタイメイオンセイセンタ
ヲイオンセイ3  で状態名音声選択を設定します。ジ ョクタイメイオンセイセンタ
ヲイオンセイジ ョクタイメイオンセイセンタ
ニイオンセイ4 **決定** を押した後で、**変更** を押します。

- ・ 設定内容が登録されます。
- ・ 設定内容のカーソル (“_”) が消えます。

ジ ョクタイメイオンセイセンタ
ニイオンセイジ ョクタイメイオンセイセンタ
ニイオンセイジ ョクタイメイオンセイセンタ
ニイオンセイ5 **設定** を押します。

- ・ 【セッティモード】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1 (【TEL セッティ】) の画面が表示されます。

ジ ョクタイメイオンセイセンタ
ニイオンセイ

セッティモード

TELセッティ
T01=0312345678※画面は通報先1が
0312345678の例

6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。




ワンポイント

- 状態ごとに「ヲイオンセイ/ニイオンセイ/ナ」の選択はできません。

● ハンズフリーの設定

※ ハンズフリーの設定を「スル」に変更する例


1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッティ】の画面を表示します。

2  を押して、設定項目が【ハンズ フリーセッティ】を選択して、**変更** を押します。

- ・ 設定内容にカーソル (“_”) が表示されます。

リトライセッティ
5かいハンズ フリーセッティ
シナイ

※画面は初期値の例

ハンズ フリーセッティ
シナイ3  でハンズフリーの使用有無を設定します。ハンズ フリーセッティ
シナイハンズ フリーセッティ
スル4 **決定** を押した後で、**変更** を押します。

- ・ 設定内容が登録されます。
- ・ 設定内容のカーソル (“_”) が消えます。

ハンズ フリーセッティ
スルハンズ フリーセッティ
スルハンズ フリーセッティ
スル5 **設定** を押します。

- ・ 【セッティモード】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1 (【TEL セッティ】) の画面が表示されます。

ハンズ フリーセッティ
スル

セッティモード

TELセッティ
T01=0312345678※画面は通報先1が
0312345678の例

6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。



ワンポイント

- ハンズフリーを行うには、別売品の集音マイクや外部スピーカが必要です。

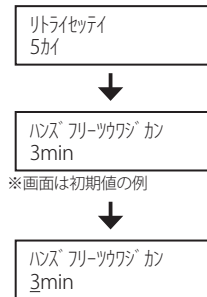
● ハンズフリー通話時間の設定

※ ハンズフリー通話時間を「15 分」に変更する例

1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッティ】の画面を表示します。

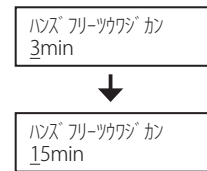
2 を押して、設定項目が【ハンズフリーツウワジカン】を選択して、 を押します。

- ・ 通話時間にカーソル（“_”）が表示されます。



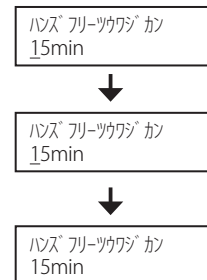
3 でハンズフリー通話時間を設定します。

- ・ を 1 秒以上押したままにすると、一定速度で昇順に表示が変化します。
- ・ + で表示順序を逆に進めることができます。
- ・ を押したまま を 1 秒以上押したままにすると、一定速度で降順に表示が変化します。



4 を押した後で、 を押します。

- ・ 設定内容が登録されます。
- ・ 設定内容のカーソル（“_”）が消えます。



5 を押します。

- ・ 【セッティモード】が 2 秒間表示され、基本設定モードレベル 1（【TEL セッティ】）の画面が表示されます。



※画面は通報先 1 が 0312345678 の例

6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

● 定期通報の設定

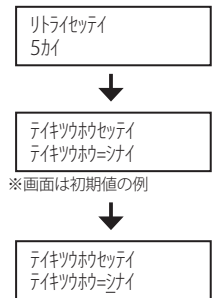
※ 定期通報を以下の内容に変更する例

- ・ 定期通報：「スル」
- ・ 通報先：「1~4」
- ・ 通報時刻：「06:30」
- ・ 通報周期：「7 日」
- ・ 通報曜日：「ゲツウホ」

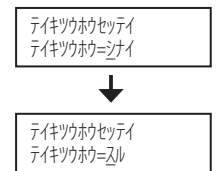
1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッティ】の画面を表示します。

2 を押して、設定項目が【ティキツウホセッティ】を選択して、 を押します。

- ・ 設定内容にカーソル（“_”）が表示されます。

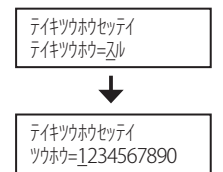


3 で定期通報の有無を設定します。



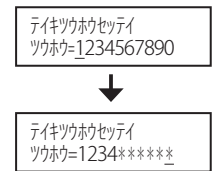
4 を押します。

- ・ 通報有無が登録されます。
- ・ 通報先が表示されます。



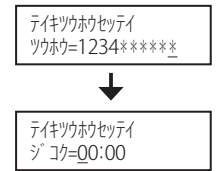
5 / で通報先を設定します。

- ・ 通報しない通報先に「*」を設定します。



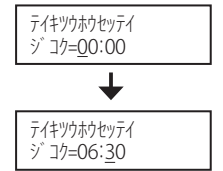
6 を押します。

- ・ 通報先が登録されます。
- ・ 通報時刻が表示されます。



7 / で通報時刻を設定します。

- ・ を 1 秒以上押したままにすると、一定速度で昇順に表示が変化します。
- ・ + で表示順序を逆に進めることができます。
- ・ を押したまま を 1 秒以上押したままにすると、一定速度で降順に表示が変化します。



- 8** **決定**を押します。
- ・ 通報時刻が登録されます。
 - ・ 通報周期が表示されます。
- ↓
- ↓
- 9** **↑**で通報周期を設定します。
- ↓
- ↓
- 10** **決定**を押します。
- ・ 通報周期が登録されます。
 - ・ 通報曜日が表示されます。
- ↓
- ↓
- 11** **↑**で通報曜日を設定します。
- ↓
- ↓
- 12** **決定**を押します。
- ・ 通報曜日が登録されます。
 - ・ 定期通報設定が表示されます。
- ↓
- ↓
- 13** **変更**を押します。
- ・ 設定内容が登録されます。
 - ・ 設定内容のカーソル(" ")が消えます。
- ↓
- ↓
- 14** **設定**を押します。
- ・ 【セットモード】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1 (【TEL セッテ】)の画面が表示されます。
- ↓
- ↓
- TELセッテ
T01=0312345678
※画面は通報先1が
0312345678の例
- 15** 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

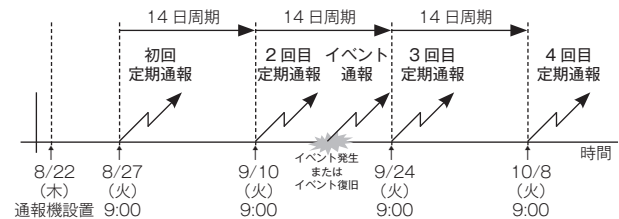
定期通報について

- 定期通報の目的は、本装置が正常であることを、登録された通報先に定期的に通報することです。

【設定例】

- ・ 2013/08/22 (木) に通報装置を設置、
- ・ 通報時刻を 9:00 に設定、
- ・ 通報周期を 14 日に設定、
- ・ 通報曜日を火曜日に設定

【動作イメージ】



このことから、定期通報実施時に**異常発生／復旧通報、監視開始通報、開始解除通報**があった場合、または**通報中**の場合は、定期通報は行いません。

- 本装置内蔵の時計時刻(日時)と通報時刻を比較して、一致したときに定期通報します。このため、内部時計がずれていた場合には、設定した日時に通報しない場合があります。
- 通報中に定期通報があった場合の動作は以下です。
 - A) 定期通報先と通報中の通報先が同じ
 - ⇒ 定期通報はしない
 - B) 定期通報先と通報中の通報先が異なる
 - ⇒ 通報後に定期通報を行なう
- 定期通報は監視開始中のとき通報されます。
- 監視モードで「**決定**」を3秒長押し」することで、定期通報として現在状態を通報します。**(メンテナンス通報)** 定期通報とメンテナンス通報が重なった場合は、先に通報した方のみで新たな定期通報は行いません。
- メンテナンス通報は監視解除中でも通報できます。

● 接点入力判定の設定

- ※ 接点 3 の接点入力判定を以下の内容に変更する例
 ・ 接点状態：「B」・ 判定時間：「2s」・ 通報先：「5～10」

1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッテ】の画面を表示します。

2 を押して、設定項目が【セッテンセッテイ1】を選択します。

リトライセッテイ
5カイ

↓

セッテンセッテイ1
セッテン=A

3 を押して、接点3 を選択して、**変更**を押します。

- ・ 設定内容にカーソル (“_”) が表示されます。

セッテンセッテイ1
セッテン=A

↓

セッテンセッテイ3
セッテン=A

※画面は初期値の例

↓

セッテンセッテイ3
セッテン=A

4 で接点状態を設定します。

セッテンセッテイ3
セッテン=A

↓

セッテンセッテイ3
セッテン=B

5 **決定**を押します。

・ 接点状態が登録されます。
 ・ 判定時間が表示されます。

セッテンセッテイ3
セッテン=B

↓

セッテンセッテイ3
ハンテイジ カン=10s

6 で判定時間を設定します。

セッテンセッテイ3
ハンテイジ カン=10s

↓

セッテンセッテイ3
ハンテイジ カン=2s

7 **決定**を押します。

・ 判定時間が登録されます。
 ・ 通報先が表示されます。

セッテンセッテイ3
ハンテイジ カン=2s

↓

セッテンセッテイ3
ツウホウ=1234567890

8 / で通報先を設定します。

- ・ 通報しない通報先に「*」を設定します。

セッテンセッテイ3
ツウホウ=1234567890

↓

セッテンセッテイ3
ツウホウ=***567890

9 **決定**を押します。

・ 通報先が登録されます。
 ・ 接点状態が表示されます。

セッテンセッテイ3
ツウホウ=***567890

↓

セッテンセッテイ3
セッテン=B

10 **変更**を押します。

・ 設定内容が登録されます。
 ・ 設定内容のカーソル (“_”) が消えます。

セッテンセッテイ3
セッテン=B

↓

セッテンセッテイ3
セッテン=B

11 **設定**を押します。

・ 【セッテイモード】が 2 秒間表示され、基本設定モードレベル 1 (【TEL セッテイ】) の画面が表示されます。

セッテンセッテイ3
セッテン=B

↓

セッテイモード

↓

TELセッテイ
T01=0312345678

※画面は通報先 1 が
0312345678の例

12 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

ワンポイント

- 接点状態は下記を参考に設定してください。


接点状態	使用方法	イメージ	
A 接点	ブレークを正常、メークを異常として使用する場合	【正常時】 	【異常時】
B 接点	メークを正常、ブレークを異常として使用する場合	【正常時】 	【異常時】

動作

● 接点設定コピーの設定

※ 接点 1 の入力判定を他の接点にコピーする例

1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッティ】の画面を表示します。

2 を押して、設定項目が【セッテンセッティコピ°-】を選択して、**変更**を押します。



- ・コピー元接点番号にカーソル(“_”)が表示されます。

リトライセッティ
5カイ

セッテンセッティコピ°-
コピ°-モト=1 コピ°-シナイ

※画面は初期値の例


セッテンセッティコピ°-
コピ°-モト=1 コピ°-シナイ

3 でコピー元接点を設定し、を押します。

- ・設定内容にカーソル(“_”)が表示されます。

セッテンセッティコピ°-
コピ°-モト=1 コピ°-シナイ

セッテンセッティコピ°-
コピ°-モト=1 コピ°-シナイ

4 で「スル」を選択し、**決定**を押します。

- ・入力判定条件がコピーされます。

セッテンセッティコピ°-
コピ°-モト=1 コピ°-シナイ

セッテンセッティコピ°-
コピ°-モト=1 コピ°-スル

セッテンセッティコピ°-
コピ°-シマシタ

5 **設定**を押します。

- ・【セッティモード°】が 2 秒間表示され、基本設定モードレベル 1 (【TEL セッティ】) の画面が表示されます。

セッテンセッティコピ°-
コピ°-シマシタ

セッティモード°

TELセッティ
T01=0312345678

※画面は通報先 1 が
0312345678の例


6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

● 現状確認の設定

※ 現状確認を以下の内容に変更する例

- ・現状確認:「スル」
- ・呼出音回数:「2 カイ」

1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッティ】の画面を表示します。

2 を押して、設定項目が【ゲンジヨウカコンセッティ】を選択して、**変更**を押します。


- ・設定内容にカーソル(“_”)が表示されます。

リトライセッティ
5カイ

ゲンジヨウカコンセッティ
カクコン=シナイ

※画面は初期値の例

ゲンジヨウカコンセッティ
カクコン=シナイ

3 で現状確認を設定します。

ゲンジヨウカコンセッティ
カクコン=シナイ


ゲンジヨウカコンセッティ
カクコン=スル




4 **決定**を押します。

- ・現状確認が登録されます。
- ・呼出音回数が表示されます。

ゲンジヨウカコンセッティ
カクコン=スル

ゲンジヨウカコンセッティ
ヨビ°ダ°シカイスウ=10カイ

5 で呼出音回数を設定します。

- ・を 1 秒以上押したままにすると、一定速度で昇順に表示が変化します。
- ・**設定** + で表示順序を逆に進めることができます。
- ・**設定**を押したまま を 1 秒以上押したままにすると、一定速度で降順に表示が変化します。

ゲンジヨウカコンセッティ
ヨビ°ダ°シカイスウ=10カイ

ゲンジヨウカコンセッティ
ヨビ°ダ°シカイスウ=2カイ

6 **決定**を押した後で、**変更**を押します。

- ・設定内容が登録されます。
- ・設定内容のカーソル(“_”)が消えます。

ゲンジヨウカコンセッティ
ヨビ°ダ°シカイスウ=2カイ

ゲンジヨウカコンセッティ
カクコン=スル

ゲンジヨウカコンセッティ
カクコン=スル

7 「設定」を押します。

- ・【セッテイモード】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1（【TELセッテイ】）の画面が表示されます。



8 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

ワンポイント

- 30秒タイマーに「0カ」を設定すると、呼出音回数は1回となります。

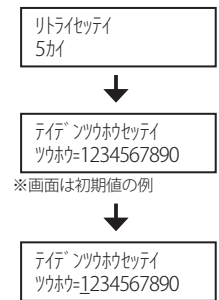
● 停電通報の設定

- ※ 停電通報を以下の内容に変更する例
- ・ 停電通報先：「2,4,6,8」 ・ 検出時間：「30s」

1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッテイ】の画面を表示します。

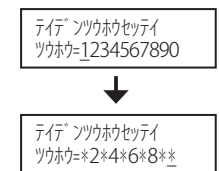
2 を押して、設定項目が【ティテンツウホウセッテイ】を選択して、 を押します。

- ・ 設定内容にカーソル（“_”）が表示されます。



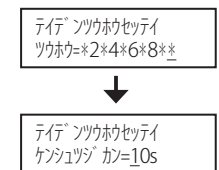
3 / で通報先を設定します。

- ・ 通報しない通報先に「*」を設定します。



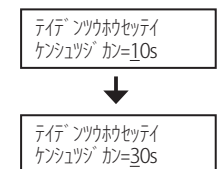
4 を押します。

- ・ 停電通報先が登録されます。
- ・ 検出時間が表示されます。



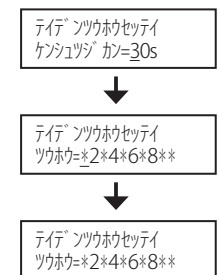
5 で検出時間を設定します。

- ・ を1秒以上押したままにすると、一定速度で昇順に表示が変化します。
- ・ + で表示順序を逆に進めることができます。
- ・ を押したまま を1秒以上押したままにすると、一定速度で降順に表示が変化します。



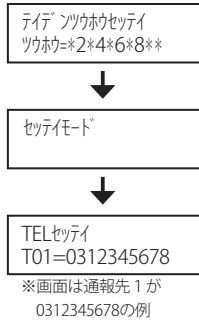
6 を押した後で、 を押します。

- ・ 設定内容が登録されます。
- ・ 設定内容のカーソル（“_”）が消えます。



7 「設定」を押します。

- ・【セットモード】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1（【TEL セッテイ】）の画面が表示されます。



8 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

ワンポイント

- 本装置を外部 DC 入力だけ（DC 電源専用）で使用する場合、この設定の通報先はすべて「*」としてください。

タイデ ンツウホウセッテイ
ツウホウ=*****

- 本装置を DC 電源専用で使用する場合、停電用内部電池に充電を行わないため、停電補償ができません。

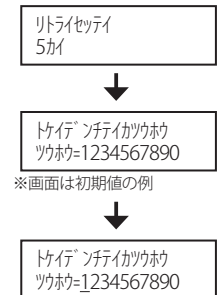
● 時計用電池電圧低下通報の設定

※ 通報先を「1,3,5,7,9」に変更する例

1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッテイ】の画面を表示します。

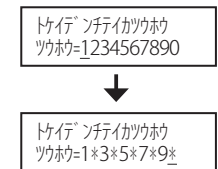
2 を押して、設定項目が【トイデ ンチイカツウホウ】を選択して、 を押します。

- ・ 設定内容にカーソル（“_”）が表示されます。



3 / で通報先を設定します。

- ・ 通報しない通報先に「*」を設定します。



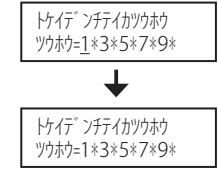
4 を押します。

- ・ 通報先 1 にカーソル（“_”）が移動します。



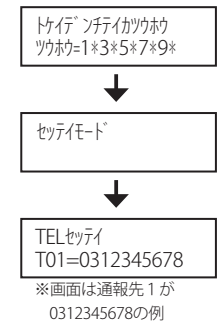
5 を押します。

- ・ 設定内容が登録されます。
- ・ 設定内容のカーソル（“_”）が消えます。



6 を押します。

- ・ 【セットモード】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1（【TEL セッテイ】）の画面が表示されます。



7 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。


ワンポイント

- 時計用電池電圧低下が通報された場合は、電池の交換が必要です。最寄りの当社営業所までお問い合わせください。

● 通報形態の設定


※ 通報形態の設定を「ジ ュジ」に変更する例

1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッテイ】の画面を表示します。

2  を押して、設定項目が【ツホウケイタイセッテイ ドウジ】を選択して、**変更** を押します。

・ 設定内容にカーソル (“_”) が表示されます。

※画面は初期値の例

3  で通報形態を設定します。

4 **決定** を押した後で、**変更** を押します。

・ 設定内容が登録されます。

・ 設定内容のカーソル (“_”) が消えます。

5 **設定** を押します。

・ 【セッテイモード】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1 (【TEL セッテイ】) の画面が表示されます。


※画面は通報先1が0312345678の例

6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

● 復旧通報の設定


※ 復旧通報の設定を「スル」に変更する例

1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッテイ】の画面を表示します。

2  を押して、設定項目が【フキユウツホウセッテイ シナイ】を選択して、**変更** を押します。

・ 設定内容にカーソル (“_”) が表示されます。

※画面は初期値の例

3  で復旧通報を設定します。

4 **決定** を押した後で、**変更** を押します。

・ 設定内容が登録されます。

・ 設定内容のカーソル (“_”) が消えます。

5 **設定** を押します。

・ 【セッテイモード】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1 (【TEL セッテイ】) の画面が表示されます。

※画面は通報先1が0312345678の例

6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

📌 ワンポイント


● 通報形態について

- ・ 「ドウジ」:
異常入力が発生したとき、接点入力毎に登録されたすべての通報先に通報します。
- ・ 「ジ ュジ」:
異常入力が発生したとき、接点入力毎に登録された通報先のどれかひとつに通報できれば、残りの通報先への通報をキャンセルします。

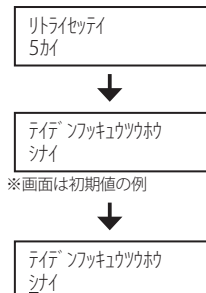

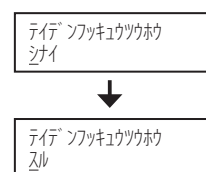
● 停電復旧通報の設定

※ 停電復旧通報の設定を「ス」に変更する例

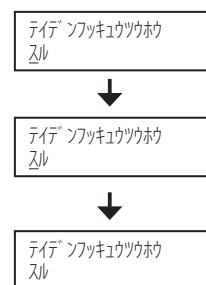
1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リタイセッテイ】の画面を表示します。

2 を押して、設定項目が【テイデ`ンフッキュウツウホク`シナイ】を選択して、**変更**を押します。

- ・ 設定内容にカーソル（"_"）が表示されます。

3 で停電復旧通報を設定します。4 **決定**を押した後で、**変更**を押します。

- ・ 設定内容が登録されます。
- ・ 設定内容のカーソル（"_"）が消えます。

5 **設定**を押します。

- ・ 【セッテイモード`】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1（【TELセッテイ】）の画面が表示されます。




6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

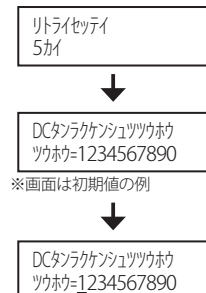
● DC 電源短絡検出通報の設定

※ 通報先を「1,2」に変更する例

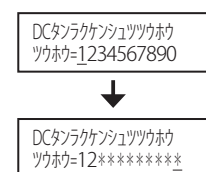
1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リタイセッテイ】の画面を表示します。

2 を押して、設定項目が【DCタンラケンシュツツウホク`]を選択して、**変更**を押します。

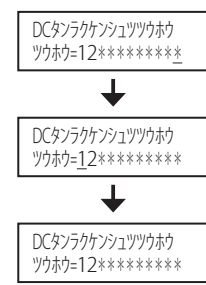
- ・ 設定内容にカーソル（"_"）が表示されます。

3 /で通報先を設定します。

- ・ 通報しない通報先に「*」を設定します。

4 **決定**を押して、**変更**を押します。

- ・ 通報先1にカーソル（"_"）が移動します。
- ・ 設定内容が登録されます。
- ・ 設定内容のカーソル（"_"）が消えます。

5 **設定**を押します。

- ・ 【セッテイモード`】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1（【TELセッテイ】）の画面が表示されます。



6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

👉 ワンポイント

- 本装置を外部 DC 入力だけ（DC 電源専用）で使用する場合、この設定の通報先はすべて「*」としてください。

DCタンラケンシュツツウホク`
ツウホク=*****

- DC 電源の短絡が4秒以上継続すると、DC 出力を停止します。その後、監視モードや履歴モード以外の動作モードへ移行して監視モードに戻った場合に、DC 出力を再開します。

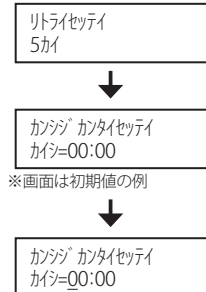
● 監視時間帯の設定

- ※ 監視時間帯を以下の内容に変更する例
・ 監視開始時間：「19:00」 ・ 監視終了時間：「7:30」

1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセティ】の画面を表示します。

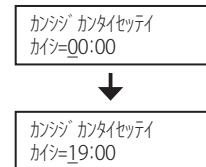
2 を押して、設定項目が【カンジジ カンタイセティ】を選択して、**変更** を押します。

- ・ 設定内容にカーソル（“_”）が表示されます。



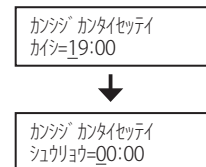
3 / で開始時間を設定します。

- ・ を 1 秒以上押したままにすると、一定速度で昇順に表示が変化します。
- ・ **設定** + で表示順序を逆に進めることができます。
- ・ **設定** を押したまま を 1 秒以上押したままにすると、一定速度で降順に表示が変化します。



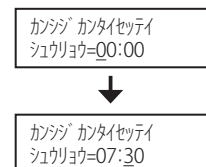
4 **決定** を押します。

- ・ 監視開始時間が登録されます。
- ・ 監視終了時間が表示されます。



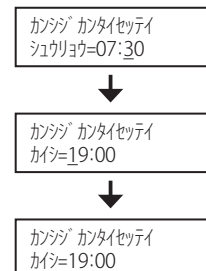
5 / で終了時間を設定します。

- ・ を 1 秒以上押したままにすると、一定速度で昇順に表示が変化します。
- ・ **設定** + で表示順序を逆に進めることができます。
- ・ **設定** を押したまま を 1 秒以上押したままにすると、一定速度で降順に表示が変化します。



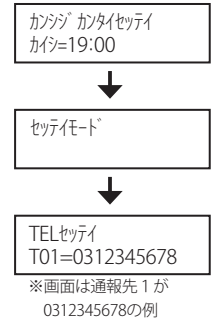
6 **決定** を押した後で、**変更** を押します。

- ・ 設定内容が登録されます。
- ・ 設定内容のカーソル（“_”）が消えます。



7 **設定** を押します。

- ・ 【セティモード】が 2 秒間表示され、基本設定モードレベル 1（【TEL セティ】）の画面が表示されます。



8 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

👉 ワンポイント

- 監視開始時間を「19:00」、監視終了時間を「7:30」に設定した場合の監視時間帯は以下になります。
 - ・ 監視時間帯 19:00 ~ 24:00、0:00 ~ 7:30
- 監視時間帯以外の時間では、異常が発生／復旧しても、通報されません。また時計用電池の電圧および停電の監視や、DC 電源短絡の監視も行われません。
- 監視時間帯以外の時間では、定期通報や電話による現状確認も行いません。
- 監視開始時間と監視終了時間が同時刻に設定された場合は、24 時間常に監視を行います。

STOP お願い



- 監視時間帯による監視を行う場合は、特殊設定モードのセキュリティモードを「ツヅヨウ」に設定してください。詳細については 36,37 ページを参照してください。

動作

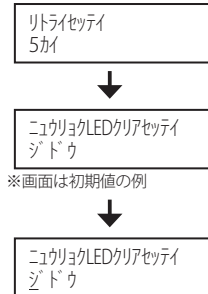
● 入力 LED クリアの設定


※ 入力 LED クリアの設定を「ｼﾄﾞｳ」に変更する例

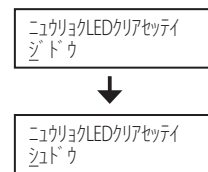
1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【ﾘﾄﾗｲｾｯﾃｲ】の画面を表示します。



2 を押して、設定項目が【ﾆｭｳﾘｮｸLEDｸﾘｱｾｯﾃｲ】を選択して、を押します。

・ 設定内容にカーソル(“_”)が表示されます。

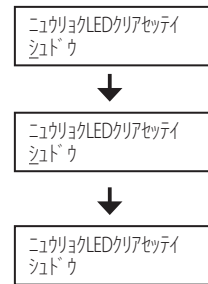



3 で入力 LED クリアを設定します。



4 を押した後で、を押します。

・ 設定内容が登録されます。
・ 設定内容のカーソル(“_”)が消えます。



5 を押します。


・ 【セッﾃｰﾓｰﾄﾞ】が2 秒間表示され、基本設定モードレベル 1 (【TEL セッﾃｲ】)の画面が表示されます。



6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

🎵 ワンポイント



● 入力 LED のクリア (消灯) 方法

- ・ 「ｼﾄﾞｳ」(自動):
異常がなくなれば、自動的にクリア (消灯) します。
- ・ 「ｼﾄﾞｳ」(手動):
監視モードで を押すとクリア (消灯) します。

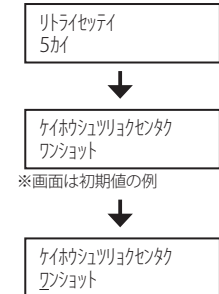
● 警報出力選択の設定


※ 警報出力選択を「LEDﾄﾞｳｷ」に変更する例

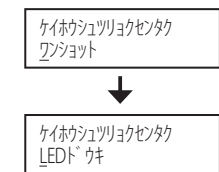
1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【ﾘﾄﾗｲｾｯﾃｲ】の画面を表示します。



2 を押して、設定項目が【ｹｲﾎﾞｼｭﾂﾘｮｸｾﾝﾀｸ】を選択して、を押します。

・ 設定内容にカーソル(“_”)が表示されます。

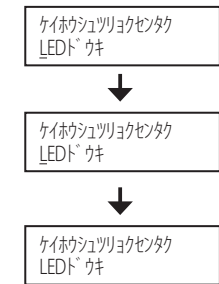



3 で警報出力選択を設定します。



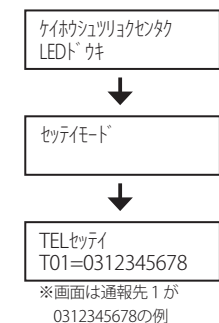
4 を押した後で、を押します。

・ 設定内容が登録されます。
・ 設定内容のカーソル(“_”)が消えます。



5 を押します。

・ 【セッﾃｰﾓｰﾄﾞ】が2 秒間表示され、基本設定モードレベル 1 (【TEL セッﾃｲ】)の画面が表示されます。



6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

🎵 ワンポイント


● 警報出力選択の動作について

- ・ 「ｳﾝｼｮｯﾄ」:
「警報出力時間」(33 ページ) で設定された時間分、警報出力します。
- ・ 「LEDﾄﾞｳｷ」:
入力ランプに同期させて警報出力します。

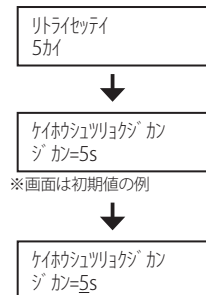
● 警報出力時間の設定

※ 警報出力時間を「30s」に変更する例

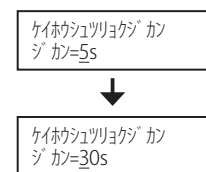
1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッティ】の画面を表示します。

2  を押して、設定項目が【ケイホウシュツリョクジ カン】を選択して、**変更** を押します。

- ・ 設定内容にカーソル (“_”) が表示されます。

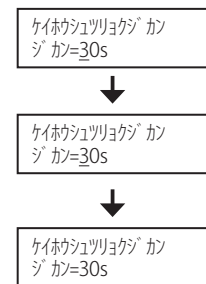


3  でワンショット時間を設定します。



4 **決定** を押した後で、**変更** を押します。

- ・ 設定内容が登録されます。
- ・ 設定内容のカーソル (“_”) が消えます。



5 **設定** を押します。

- ・ 【セッティモード】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1 (【TEL セッティ】) の画面が表示されます。




6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

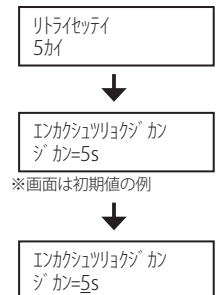
● 遠隔出力時間の設定


※ 遠隔出力時間を「120s」に変更する例

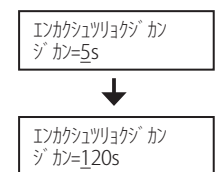
1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライセッティ】の画面を表示します。

2  を押して、設定項目が【インカクシュツリョクジ カン】を選択して、**変更** を押します。

- ・ 設定内容にカーソル (“_”) が表示されます。

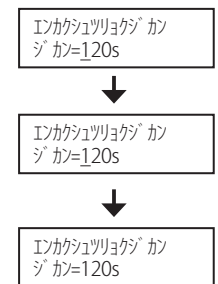


3  で遠隔出力時間を設定します。



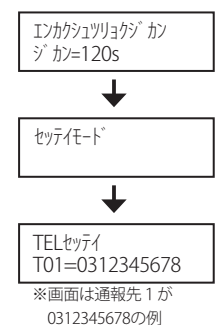
4 **決定** を押した後で、**変更** を押します。

- ・ 設定内容が登録されます。
- ・ 設定内容のカーソル (“_”) が消えます。



5 **設定** を押します。

- ・ 【セッティモード】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1 (【TEL セッティ】) の画面が表示されます。



6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。



📌 ワンポイント

- 警報出力時間は警報出力選択が「ワンショット」の場合に有効となります。

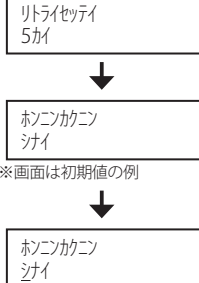
● 本人確認の設定

※ 本人確認の設定を「ス」に変更する例


1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライッテイ】の画面を表示します。

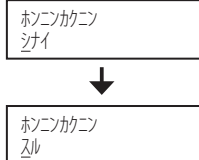
2 を押して、設定項目が【ホンニカニン】を選択して、を押します。



- 設定内容にカーソル(“_”)が表示されます。



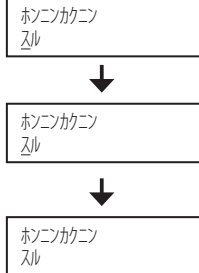
※画面は初期値の例


3 で本人確認の有無を設定します。



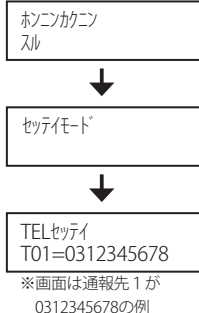
4 を押した後で、を押します。

- 設定内容が登録されます。
- 設定内容のカーソル(“_”)が消えます。



5 を押します。

- 【セッテイモード】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1(【TEL セッテイ】)の画面が表示されます。





※画面は通報先1が0312345678の例

6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

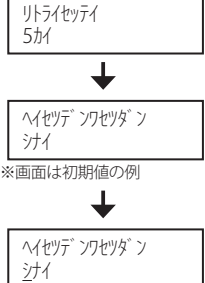
● 併設電話切断の設定

※ 併設電話切断の設定を「ス」に変更する例


1 「設定項目画面の表示」(20 ページ) の手順により、【リトライッテイ】の画面を表示します。

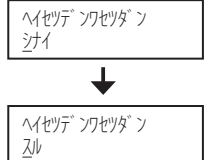
2 を押して、設定項目が【ハイセツデ' 'ンセツダ' 'ン】を選択して、を押します。



- 設定内容にカーソル(“_”)が表示されます。



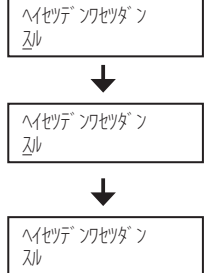
※画面は初期値の例


3 で併設電話切断の有無を設定します。



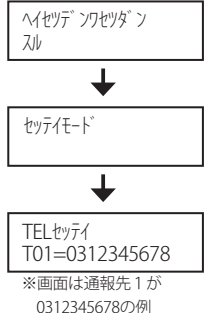
4 を押した後で、を押します。

- 設定内容が登録されます。
- 設定内容のカーソル(“_”)が消えます。



5 を押します。

- 【セッテイモード】が2秒間表示され、基本設定モードレベル1(【TEL セッテイ】)の画面が表示されます。



※画面は通報先1が0312345678の例

6 「監視画面の表示」(20 ページ) の手順により、監視モードにします。

× 毛

特殊設定モード

特殊設定モードで設定できる項目は下記になります。

設定項目	設定内容	設定範囲	初期値	参照ページ
セキュリティモード	SC-810X の動作をセキュリティモードで動作するか通常モードで動作するかを設定します。	ツウジヨウ, セキュリティ	ツウジヨウ	36
遠隔監視解除	遠隔監視解除の有効／無効を設定します。	コウコウ, ムコウ	ムコウ	37
暗証番号設定	暗証番号の有効／無効を設定します。	コウコウ, ムコウ	ムコウ	38
暗証番号	暗証番号を設定します。	0000 ～ 9999	0000	38
セキュリティ監視対象設定	接点 1 ～ 7 それぞれについて、セキュリティ監視対象にするかを設定します。	ジヨウジツ, セキュリティ	ジヨウジツ	39
通報現場 No. 桁数	通報するときの現場番号を 5 桁にするか、下 3 桁にするかを設定します。	5 ケタ, 下 3 ケタ	下 3 ケタ	40
DTMF ON/OFF 時間	遠隔の自動通報集中監視ソフト（通報データ変換装置）への DTMF 通信における ON/OFF 時間を設定します。	50ms, 60ms, 70ms, 80ms, 90ms, 100ms	80ms	40
スピーカモニタ	通報時、スピーカ拡声にて通報モニタするかを設定します。	スル, シナイ	シナイ	41
ベル OFF 検出時間	ベル OFF とするベル OFF 時間を設定します。	800ms, 100ms	800ms	41
ベル ON 検出時間	ベル ON を有効とする継続時間を設定します。	100ms, 600ms	100ms	42
ダイヤルトーン検出	ダイヤルトーンを検出してから通報先にダイヤルするかを設定します。	スル, シナイ	スル	42
終話リバース検出	相手先応答後から終話のリバース検出を行うかを設定します。	スル, シナイ	スル	43
話中音周波数検出	話中音の周波数（300 ～ 600Hz）を検出するかを設定します。	スル, シナイ	スル	43
終話 CPC 検出	相手先応答後から終話 CPC を検出するかを設定します。	スル, シナイ	スル	44
設定初期化	基本設定モードおよび特殊設定モードにおいて設定した内容をすべて初期値に戻します。 現在日時、通報履歴も初期化します。	スル, シナイ	シナイ	44

● セキュリティモードの設定

※ セキュリティモードを「セキュリティ」に変更する例

1 監視モードのとき、**決定** + **→** + **設定** を 3 秒以上押します。

・【セキュリティモードセッテイ】が表示されます。

※画面は初期値の例

2 **変更** を押します。

・設定内容にカーソル（“_”）が表示されます。

3 **↑** でセキュリティモードを設定します。

4 **決定** を押します。

・セキュリティモードが登録されます。（画面表示に変更はありません。）

5 **変更** を押します。

・設定内容が登録されます。
・設定内容のカーソル（“_”）が消えます。

6 **設定** を押します。

・登録内容が保存されます。
・【データーバンク】が 1 秒間表示されます。
・【カンモード】が 2 秒間表示されます。

セキュリティモードとは

- セキュリティモードとは、現場および遠隔（DTMF コマンドによる）からの『監視開始』『監視解除』ができるモードです。
 - ・セキュリティ監視中

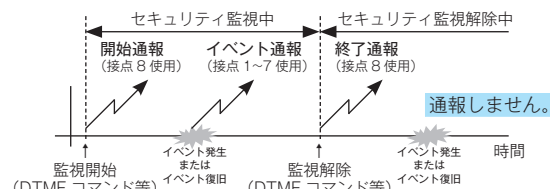
通常モードと同等の監視動作を行います。
 - ・セキュリティ監視解除中

セキュリティ対象のイベントは通報しません。

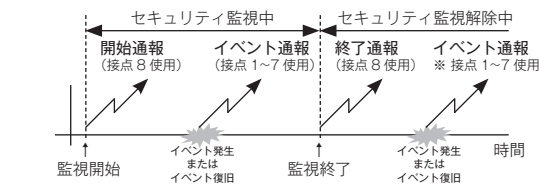
このことから、**業務時間やメンテナンス中に誤った通報を防止することができます。**
- セキュリティモードが「セキュリティ」の場合は、接点 8 により『監視開始』『監視解除』を通報します。このときセキュリティモードで運用する接点について、セキュリティ監視対象設定を「セキュリティ」に設定してください。詳細については「セキュリティ監視対象設定の設定」(39 ページ)を参照してください。

【動作イメージ】

「セキュリティ監視対象設定：“セキュリティ”」



「セキュリティ監視対象設定：“ジョグ”」



- セキュリティモードが「ジョグ」の場合は、監視時間帯の設定が必要です。「基本設定モード レベル 2 監視時間帯の設定」(31 ページ)を参照してください。

ワンポイント

- セキュリティモードの設定が「セキュリティ」のときで、監視解除中は定期通報は行いません。
- セキュリティモードで履歴を確認した場合、接点 8 の現在情報は“0”固定となります。（接点 8 入力に変化があっても表示は変化しません。）
- DTMF コマンドによる監視開始／解除コマンドと、本体の接点入力 8 とは後入力優先となります。

● 遠隔監視解除の設定

※ 遠隔監視解除を「ジョグ」に変更する例

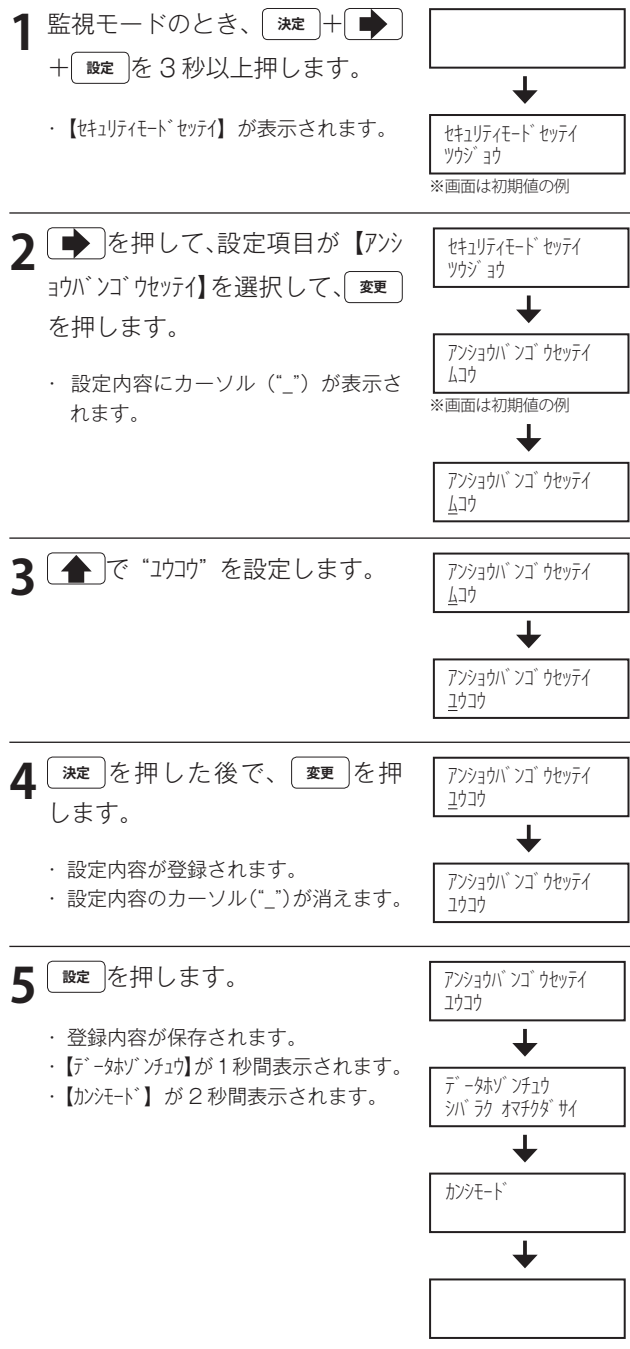
- 1 監視モードのとき、**決定** + **➡** + **設定** を 3 秒以上押します。
 - ・【セキュリティモード セッテイ ツウジ ヨウ】が表示されます。

※画面は初期値の例
- 2 **➡** を押して、設定項目が【インカカンジカジ ヨ ムコウ】を選択して、**変更** を押します。
 - ・設定内容にカーソル（“_”）が表示されます。

※画面は初期値の例
- 3 **↑** で“ジョグ”を設定します。
- 4 **決定** を押した後で、**変更** を押します。
 - ・設定内容が登録されます。
 - ・設定内容のカーソル（“_”）が消えます。
- 5 **設定** を押します。
 - ・登録内容が保存されます。
 - ・【データリセット】が 1 秒間表示されます。
 - ・【カンモード】が 2 秒間表示されます。

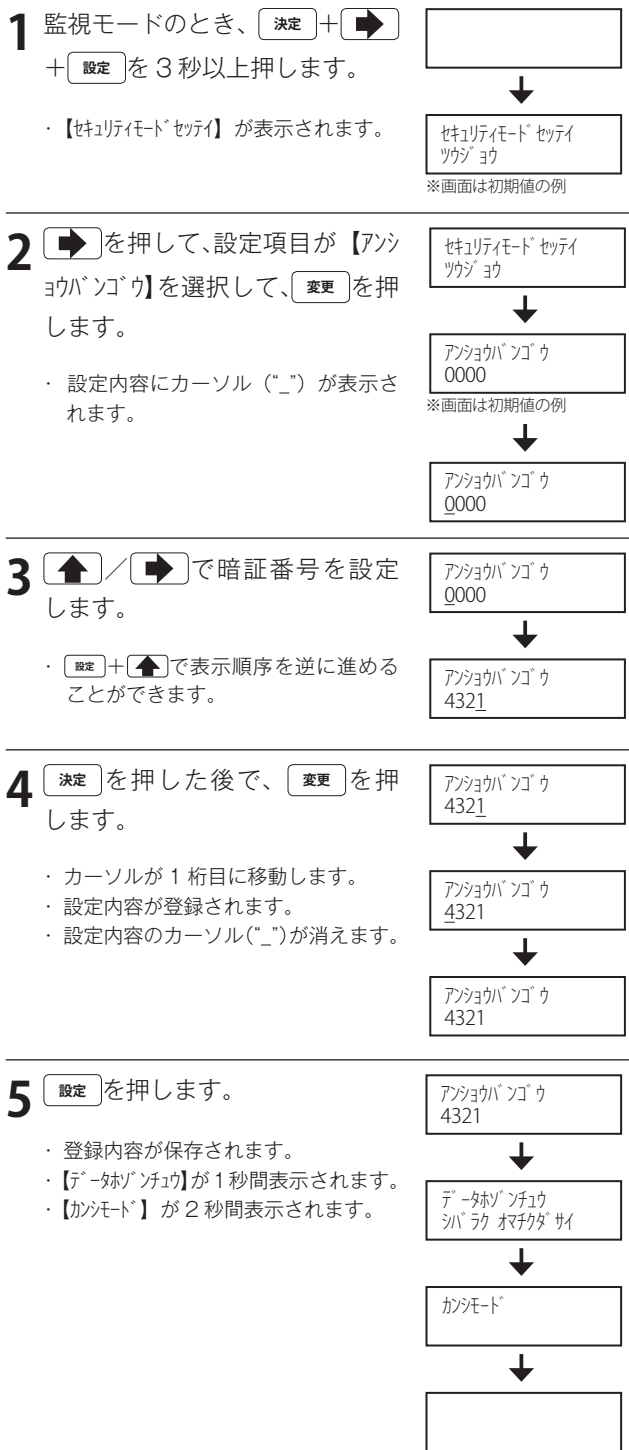
● 暗証番号設定の設定

※ 暗証番号設定を「1234」に変更する例



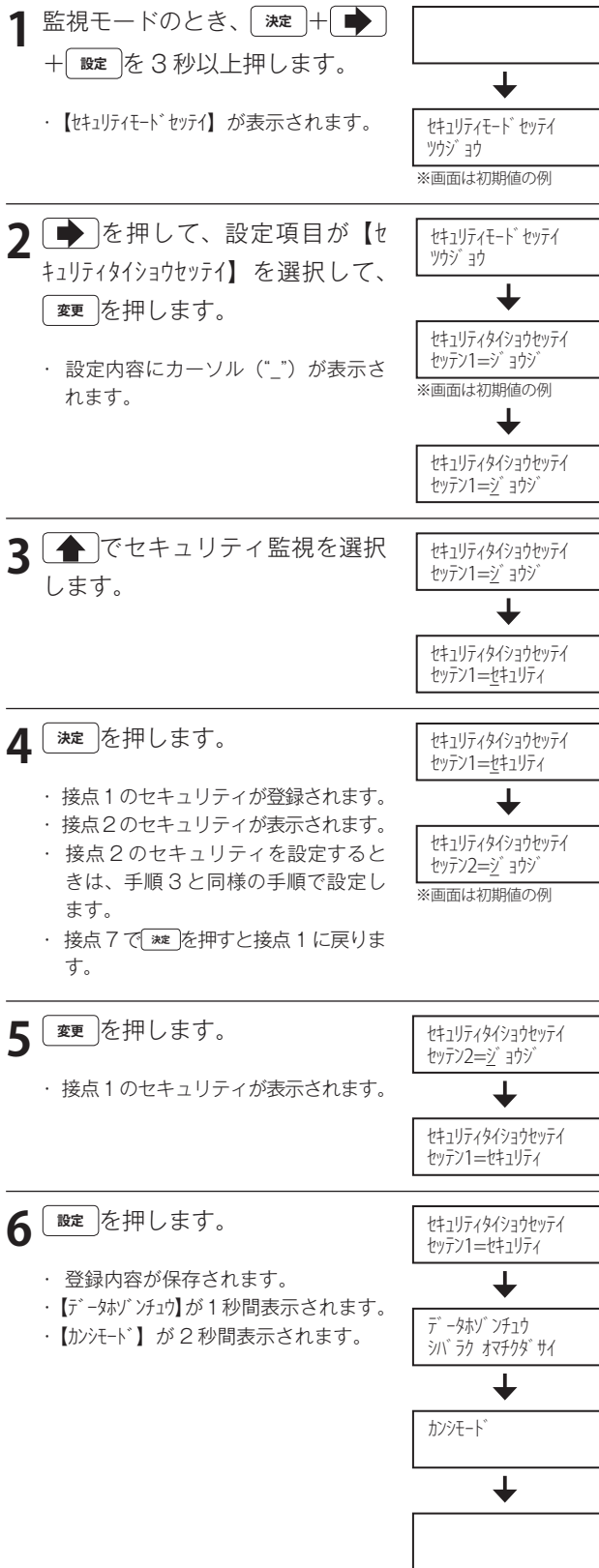
● 暗証番号の設定

※ 暗証番号に「4321」を設定する例



● セキュリティ監視対象設定の設定

※ 接点 1 のセキュリティ監視設定を「セキュリティ」に設定する例

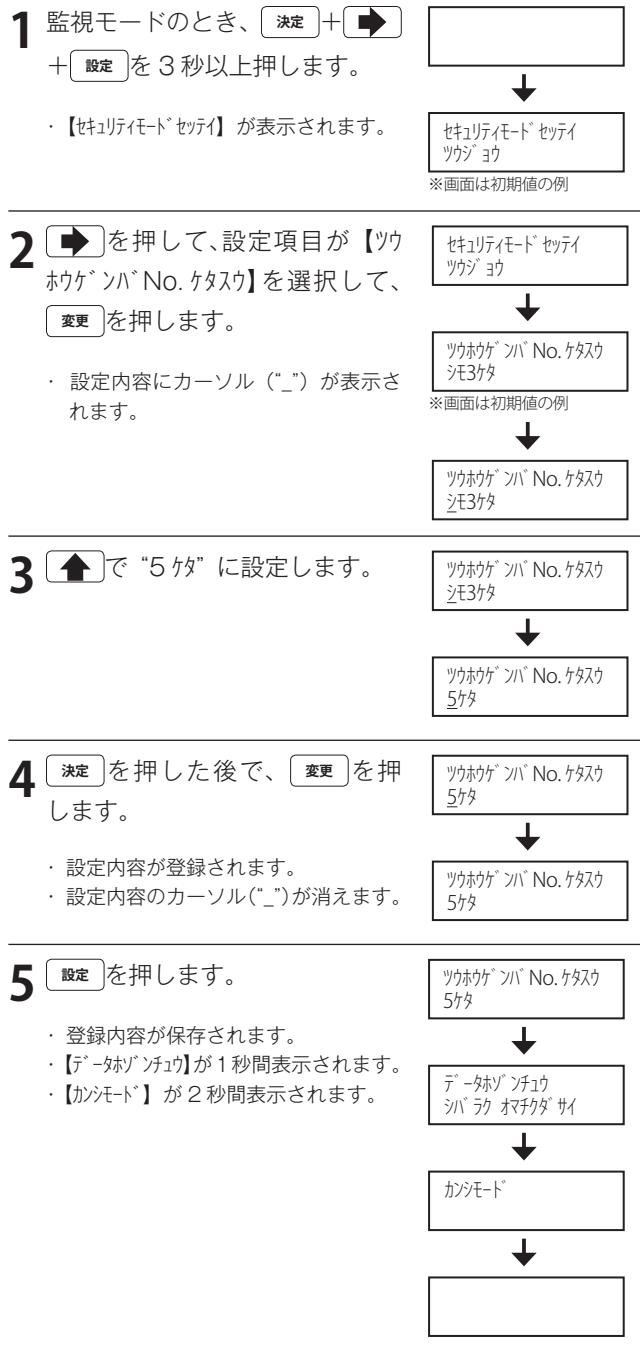


STOP お願い

- セキュリティモードが「セキュリティ」の場合に、本項目の設定が有効になります。詳細については 36,37 ページを参照してください。

● 通報現場 No. 桁数の設定

※ 通報現場 No. 桁数を「5 桁」に設定する例



📢 ワンポイント

- 通報現場 No. 桁数を “5 桁”（下 3 桁）に設定しても、「基本設定モードレベル 1 現場 No. の設定」（16 ページ）で設定する現場番号は 5 桁です。

STOP お願い

- 「基本設定モードレベル 1 通報先種別の設定」（15 ページ）で、通報先種別を “データ” で設定している通報先がある場合は、通報現場 No. 桁数は “5 桁” で設定してください。“5 桁”（下 3 桁）の場合は、データ通報時に現場番号が識別されません。

● DTMF ON/OFF 時間の設定

※ DTMF ON/OFF 時間を「90ms」に設定する例

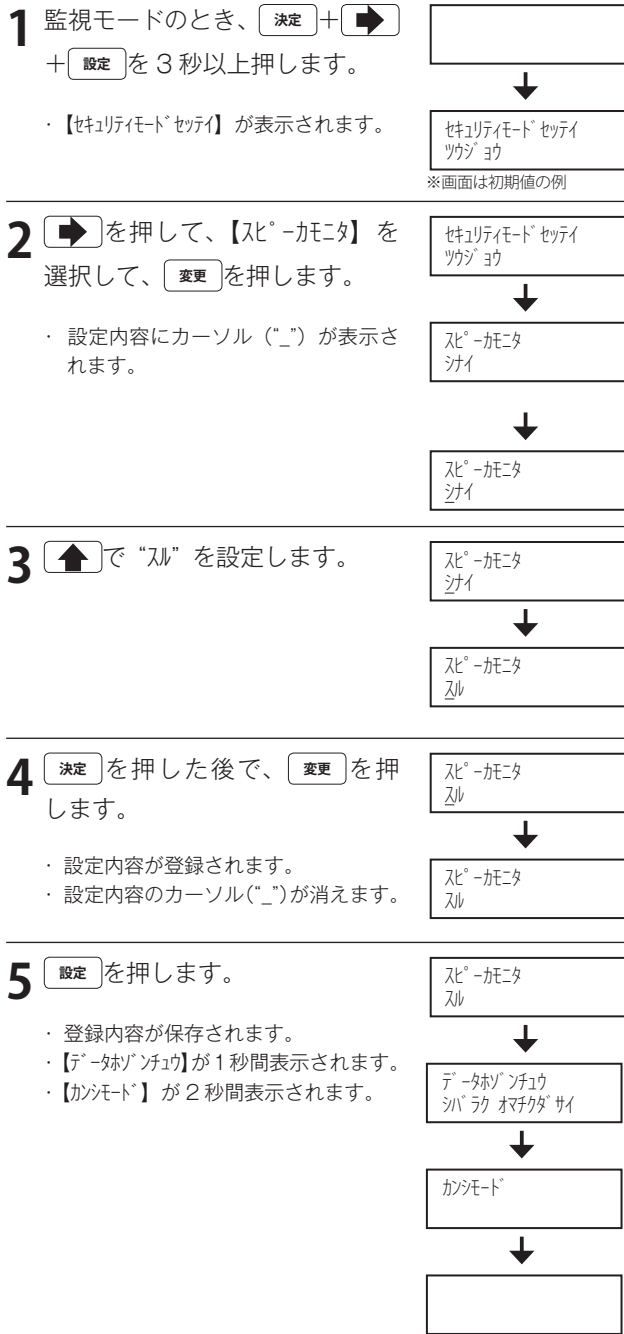


📢 ワンポイント

- 時間を短くすると DTMF 通信時間は短縮されますが、通信エラーが発生する可能性が高くなります。

● スピーカモニタの設定

※ スピーカモニタを「ス」に設定する例

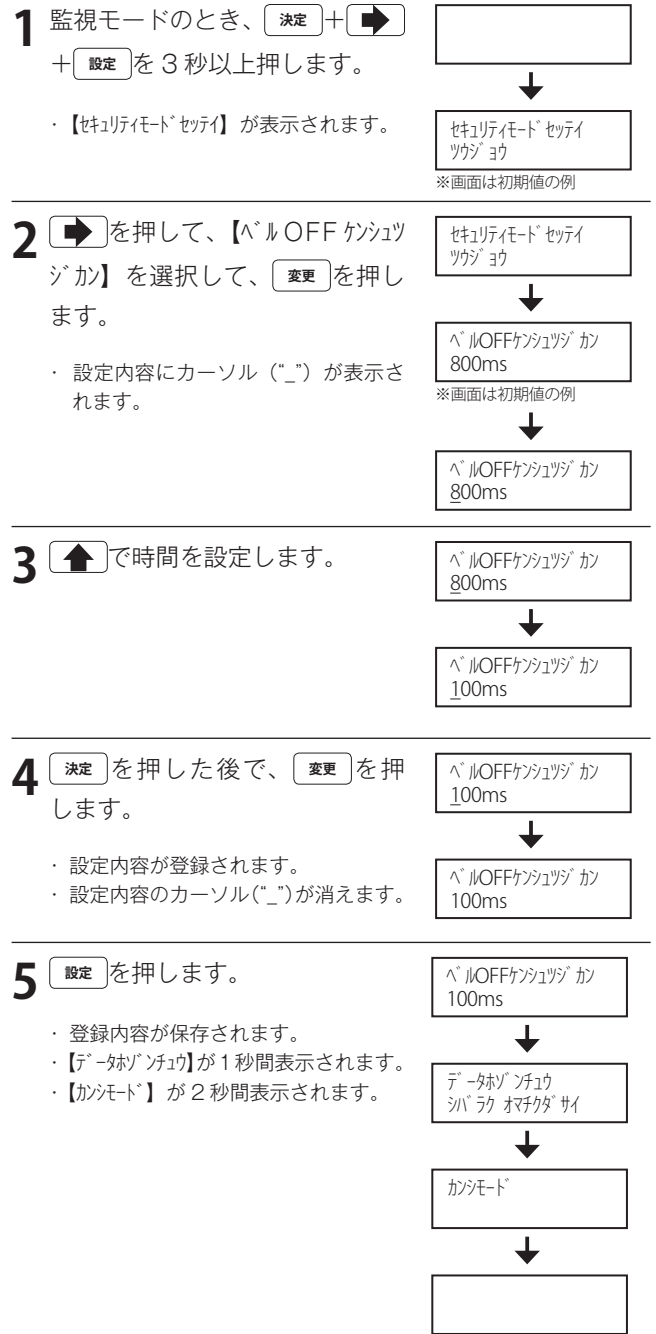


ワンポイント

- スピーカからモニタする場合は、外部スピーカ（別売品）が必要です。

● ベル OFF 検出時間の設定

※ ベル OFF 検出時間を「100ms」に設定する例



STOP お願い

- 内線接続時に、現状確認を“ス”に設定して本装置に電話をかけても、本装置が応答しない場合は、ベル OFF 検出時間を「100ms」に変更してください。

動作

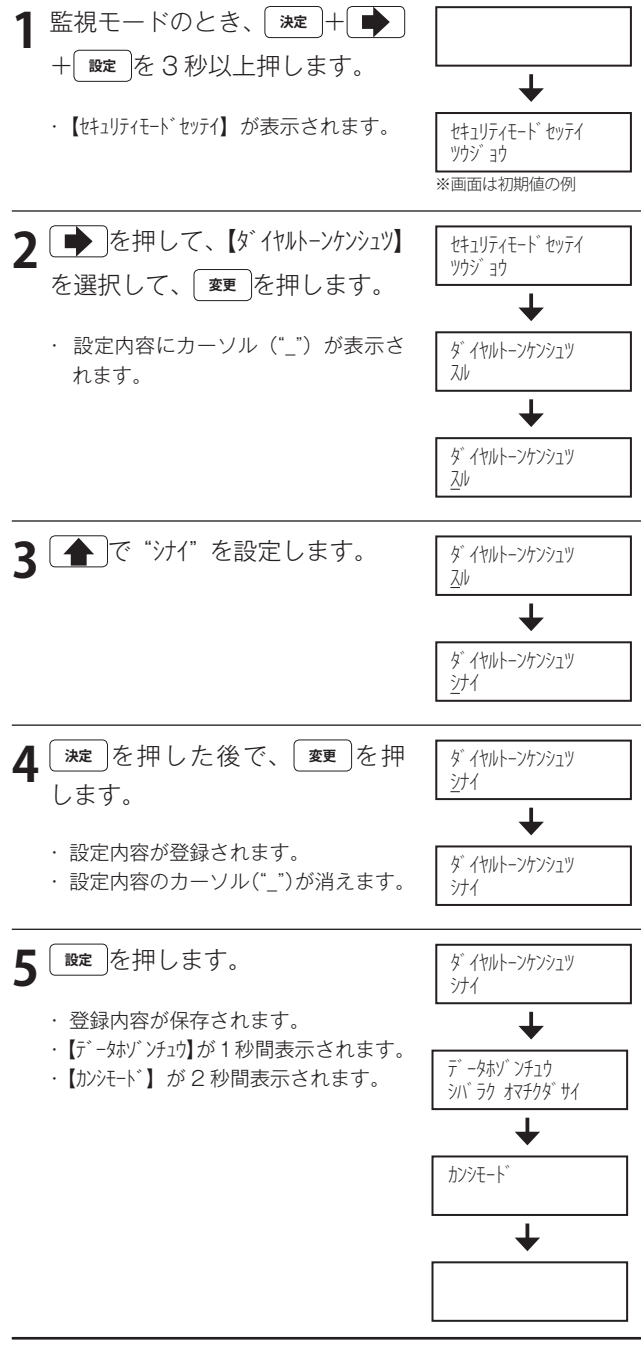
● ベル ON 検出時間の設定

※ ベル ON 検出時間を「600ms」に設定する例



● ダイヤルトーン検出の設定

※ ダイヤルトーン検出を「シイ」に設定する例

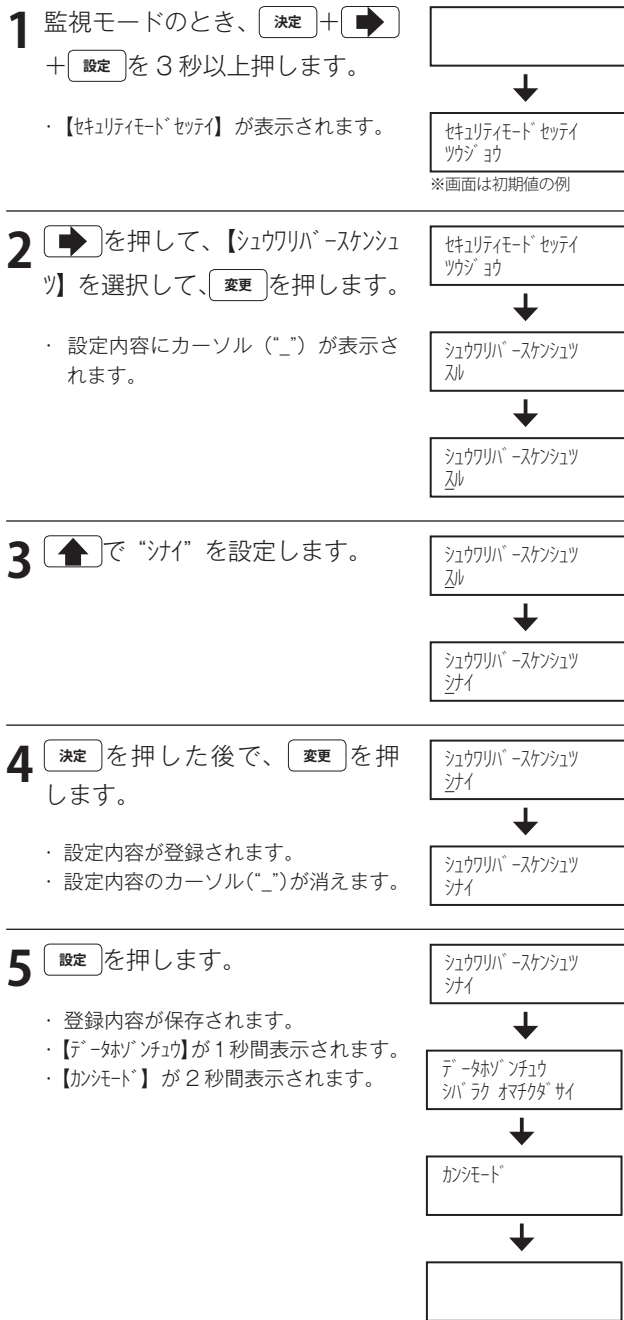


STOP お願い

- ご利用の電話回線がナンバーディスプレイの契約をしている場合は、ベル ON 検出時間を「600ms」に変更してください。

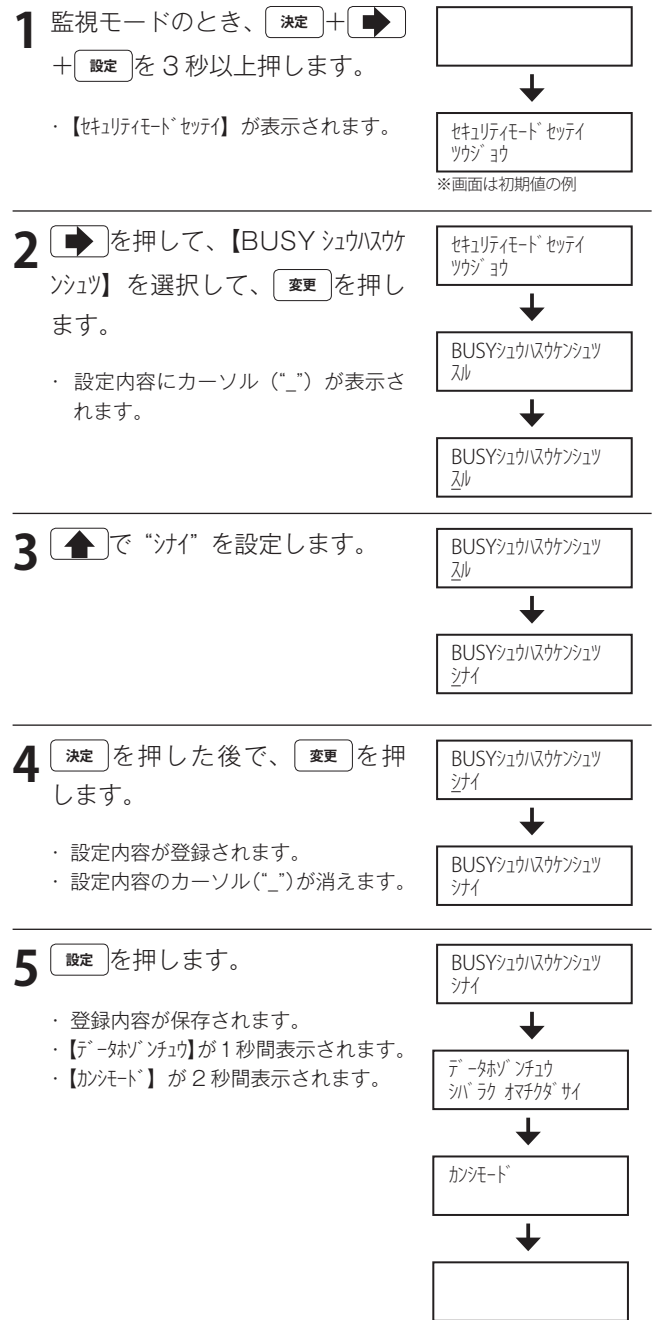
● 終話リバーズ検出の設定

※ 終話リバーズ検出を「シイ」に設定する例



● 話中音周波数検出の設定

※ 話中音周波数検出を「シイ」に設定する例

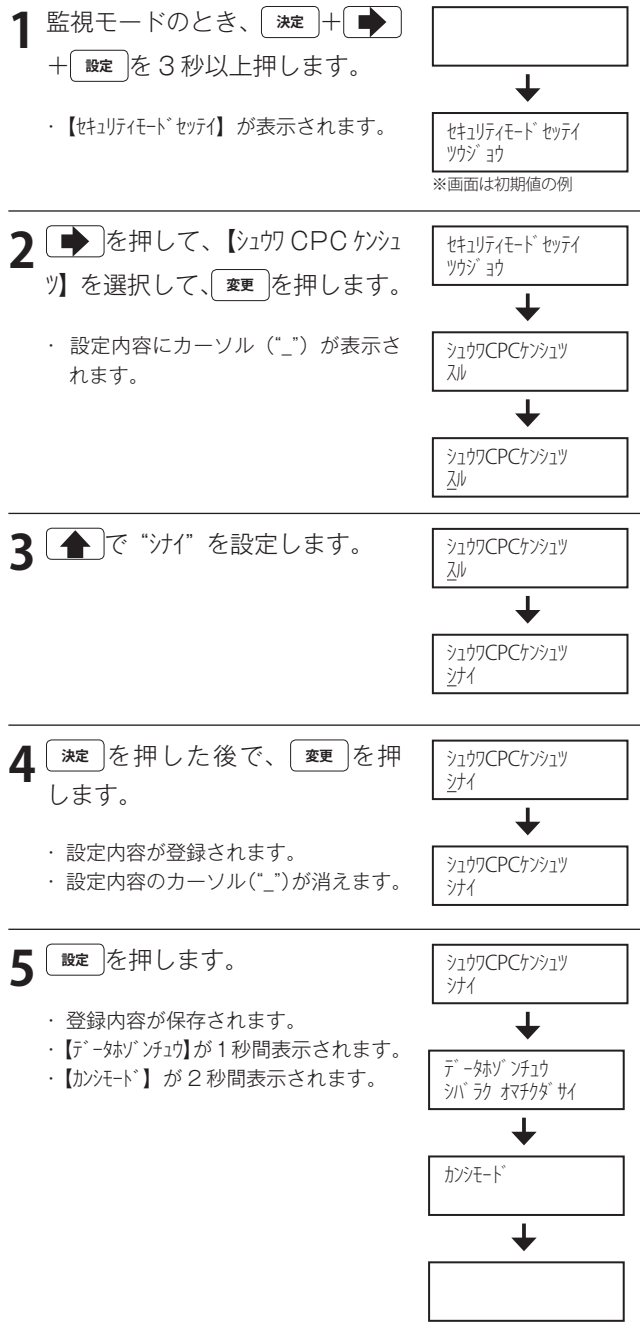


👉 ワンポイント

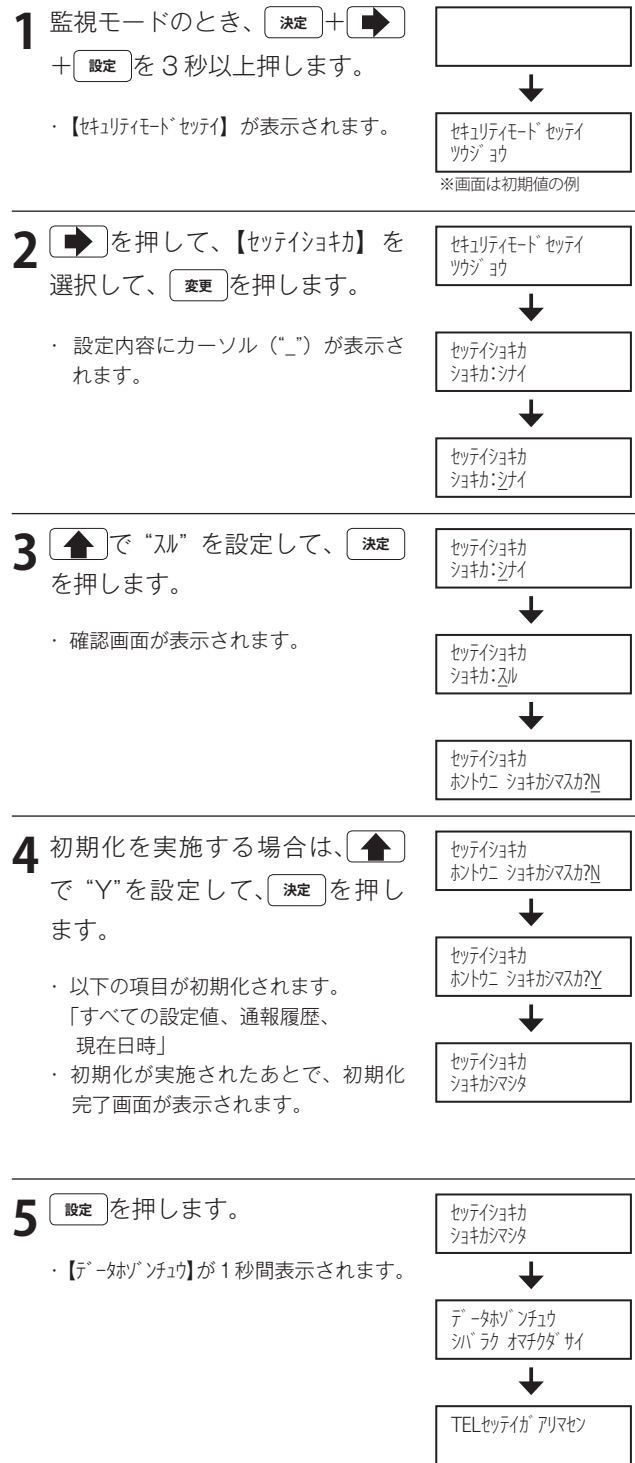
- 話中音周波数検出が「シイ」場合、周波数に関係なく話中音を判定します。

● 終話 CPC 検出の設定

※ 終話 CPC 検出を「シイ」に設定する例



● 設定初期化の設定

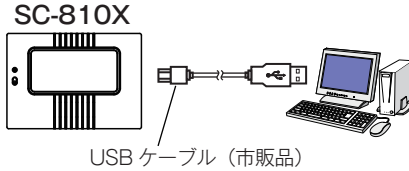


ワンポイント

- 設定初期化では、録音済みの任意音声は初期化されません。録音済みの任意音声を初期化する場合は、設定ツールまたは「任意音声モード 消去」（48 ページ）を参照してください。

設定ツールモード

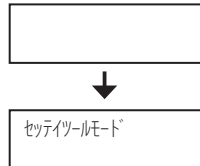
設定ツールをインストールしたパソコンと本装置を、USB ケーブル（市販品）で接続させてください。接続については、「接続 USB 接続」（11 ページ）を参照してください。



設定ツールから操作できる内容や詳細手順については、ホームページからダウンロードした「SC-810X 設定ツール 取扱説明書」を参照してください。
本装置の操作手順を以下に記述します。

- 1 監視モードのとき、**変更** を 2 秒以上押します。

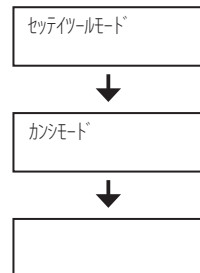
・【セッティツールモード】が表示されます。



- 2 「SC-810X 設定ツール 取扱説明書」に従って、操作します。

- 3 **設定** を押して、設定ツールモードから監視モードに戻ります。

・【カンモード】が 2 秒間表示されます。



ワンポイント

- 設定ツールモード中に設定ツールとの通信が 10 分間確認されない場合は、自動的に監視モードに戻ります。

任意音声モード

任意音声モードは、通報メッセージに使用する任意音声メッセージを録音・再生・消去するためのモードです。任意音声メッセージの種類は、現場名が 1 種類、入力名が 8 種類、状態名が 3 種類あります。

接点入力	メッセージ種別	固定音声	任意音声	
			番号	最大録音時間
—	現場名	「こちらは現場〇〇〇〇〇」 ※〇〇〇〇〇は 5 桁または下 3 桁の現場 No. の設定値となります。(16 ページ、40 ページ参照)	00	20 秒
1	入力名	「1 番侵入」	01	各 10 秒
2		「2 番侵入」	02	
3		「火災」	03	
4		「ガス漏れ」	04	
5		「非常事態」	05	
6		「6 番異常」	06	
7		「7 番異常」	07	
8		「8 番異常」	08	
—	状態名	「発生」	11	各 10 秒
		「復旧」	12	
		「継続中」	13	

【固定音声使用時の通報内容】

例 1) 接点入力 1 の異常発生

“こちらは現場〇〇〇〇〇、1 番侵入発生”

例 2) 接点入力 4 の復旧

“こちらは現場〇〇〇〇〇、ガス漏れ復旧”

ワンポイント

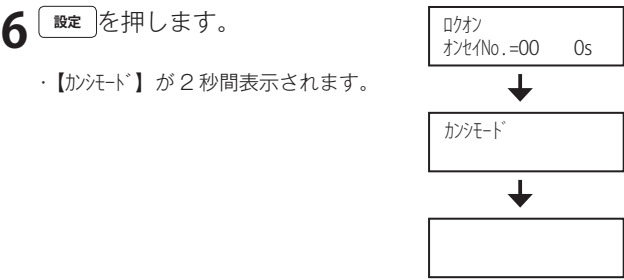
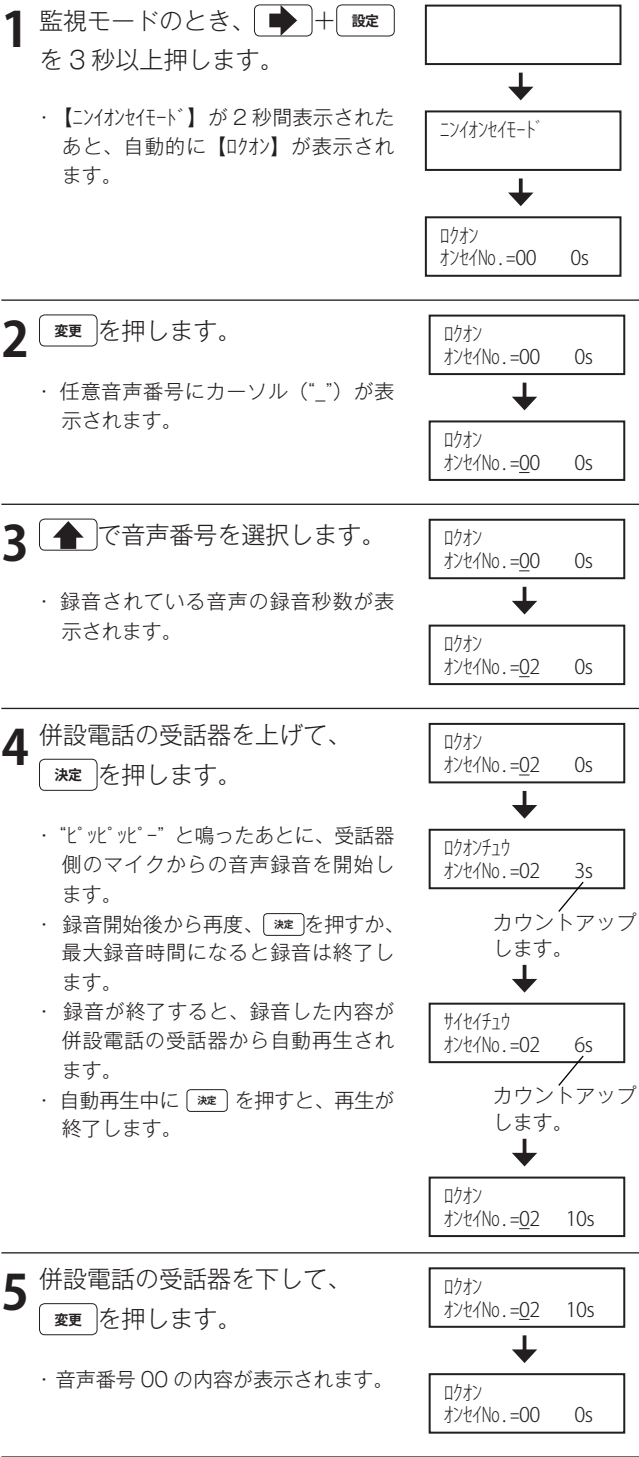
- 現場名を任意音声で録音した場合、固定音声の場合の「こちらは現場」という音声は付加されません。
- 接点入力の復旧通報を行う場合、復旧通報の設定を「スル」に設定してください。詳細は「基本設定モードレベル 2 復旧通報の設定」（29 ページ）を参照してください。
- 固定音声と任意音声をメッセージ種別ごとに選択して組み合わせることもできます。
- 任意音声モードに入ると、併設電話の電話回線との接続が強制的に切断されます。

動作

■ 録音

併設電話を接続して受話器から任意音声メッセージを録音します。併設電話との接続は、「接続 回線接続」(11 ページ)を参照してください。

※ 任意音声番号 02 の音声メッセージを録音する例



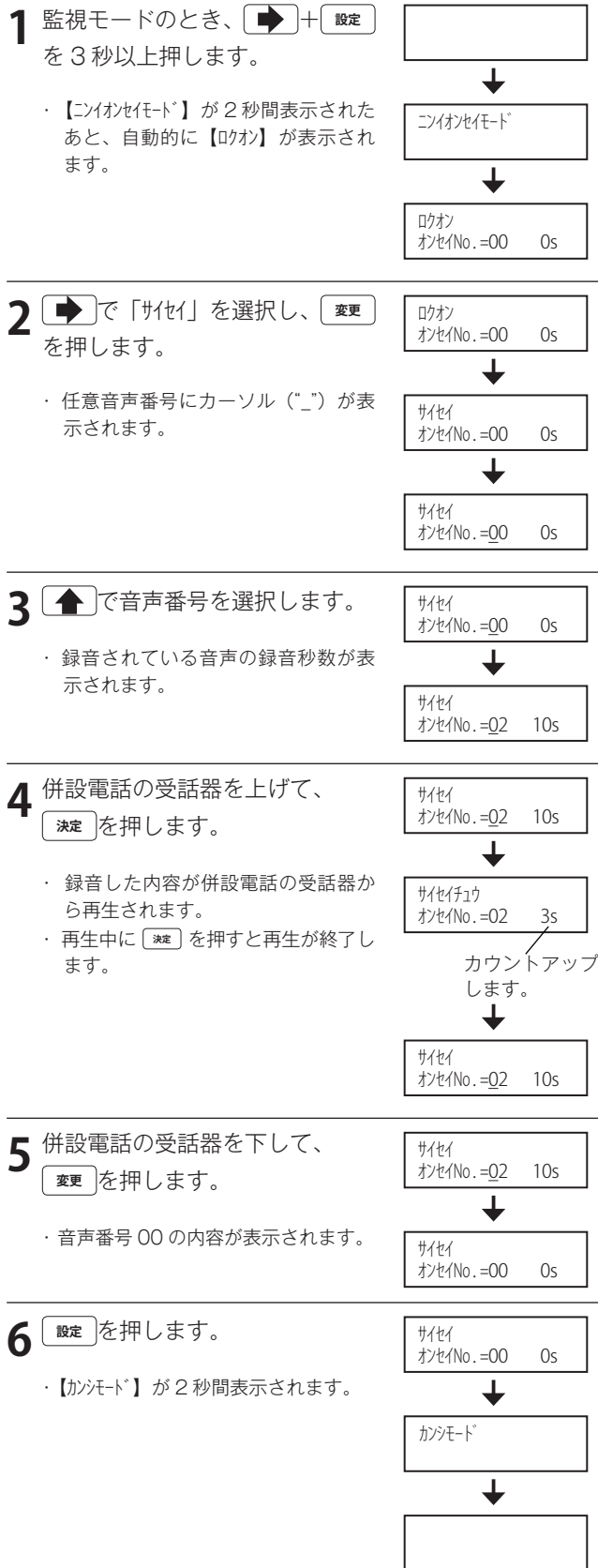
👉 ワンポイント

- 選択された任意音声番号が、既に録音済みの場合は、自動的に消去されてから録音を開始します。

■ 再生

併設電話を接続して受話器から任意音声メッセージを再生します。併設電話との接続は、「接続 回線接続」(11 ページ)を参照してください。

※ 任意音声番号 02 の音声メッセージを再生する例



👉 ワンポイント

- 手順 4 で未録音の任意音声番号を選択した場合は、“ワカ アリマセ”を表示して、手順 3 に戻ります。

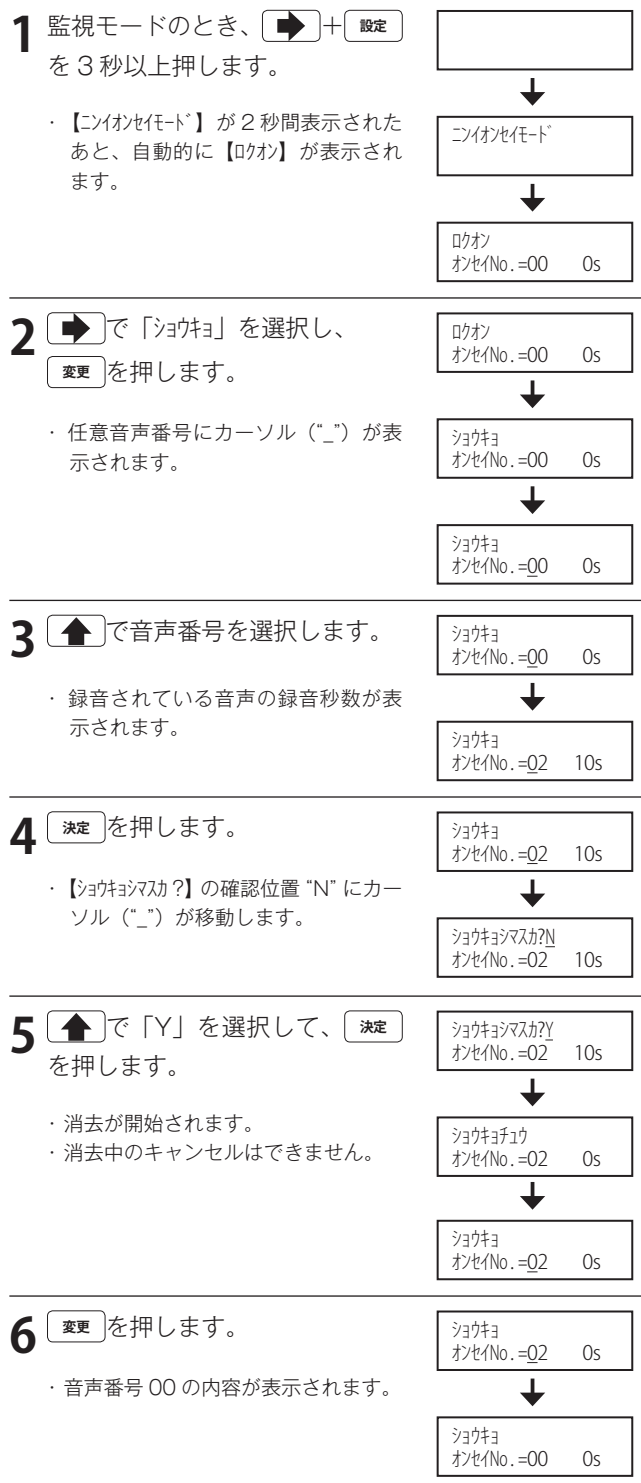
ワカ アリマセ
オンセNo.=02 0s

動作

■ 消去

任意音声メッセージを消去します。

※ 任意音声番号 02 の音声メッセージを消去する例



7 **設定**を押します。

- ・【カンジモード】が 2 秒間表示されます。



👉 ワンポイント

- 手順 5 で「N」を選択して **決定** を押した場合は、手順 3 に戻ります。
- 手順 5 で未録音の任意音声番号を選択した場合は、“ロウカガアリマセン”を表示して、手順 3 に戻ります。

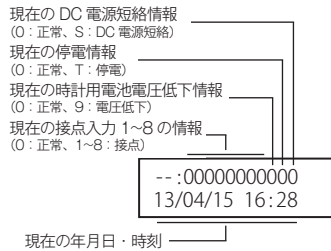
ロウカガ アリマセン
オンセイNo.=02 0s

履歴モード


履歴モードは、最大 29 回分記録された通報内容を確認するためのモードです。通報データが 29 回を越えると古いものから消去して、常に新しいものから 29 回分のデータを記録します。

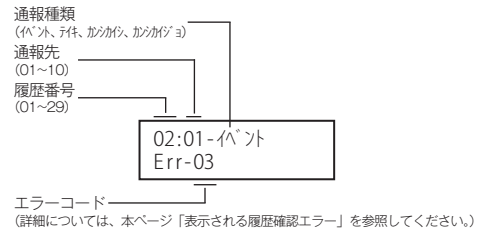
1 監視モードのとき、を押して現在の情報を表示します。

- ・【リフトモード】が 2 秒間表示されたあと、自動的に現在の情報が表示されます。
- ・現在の情報の内容は下記です。




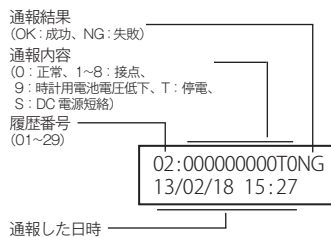
3 を押して通報データの詳細を確認できます。

- ・を押すごとに、表示が切り替わります。
- ・通報データの詳細の内容は下記です。



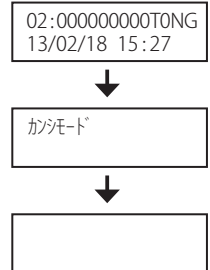
2 を押して通報データを確認します。

- ・を押すごとに、最新の通報データから過去の履歴を表示します。
- ・通報データの内容は下記です。



4 を押します。

- ・【カンゾモード】が 2 秒間表示されます。



ワンポイント

- 10 分間キー操作をしなかった場合は、自動的に監視モードに戻ります。

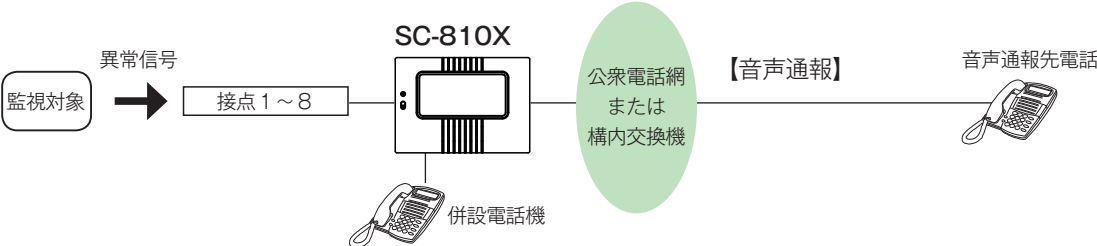
●表示される履歴確認エラー

エラーコード	発生エラー	想定要因	対処方法
01	通報先不応答	通報先は応答していますか？	通報先の電話番号を確認してください。 データ通報の場合、通報先のパソコンの状態を確認してください。
02	通報先話中音検出	音声通報先電話が話中、もしくは受話器があがっていませんか？	通報先の状態を確認してください。
03	回線電圧異常	回線は正しく接続されていますか？	回線接続を確認してください。
04	本人確認エラー	通報時の応答動作で本人確認しましたか？	通報時の応答動作で本人確認用の DTMF “0” を入力してください。
10	DTMF 通信開始エラー	データ通報先はパソコンですか？	通報先の電話番号および通報先種別を確認してください。
11	DTMF 通信エラー	データ通報先のパソコンとの伝送路に問題はありませんか？	回線接続等を確認してください。
20	動作モード移行による通報キャンセル	通報中に履歴モード以外の各種の動作モードへ移行して、設定項目を変更しましたか？	通報が終了してから、設定項目を変更してください。
99	その他のエラー	—	最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

機能

通報先への通報機能

音声通報に設定されている通報先について、通報すべき異常の発生または復旧した場合などに、その状態を音声メッセージにて通報します。固定音声における通報例を以下に示します。



通報種別	通報内容（固定音声）※1	通報例（固定音声の場合）※2
異常発生・復旧通報	「現場名」、「入力名」、「状態名」	「こちらは現場〇〇〇、6番異常、発生。」
停電発生・復旧通報	「現場名」、「停電」、「状態名」	「こちらは現場〇〇〇、停電、復旧。」
定期通報	「定期通報です。現場名、入力名、状態名」	「定期通報です。こちらは現場〇〇〇、火災、継続中。」
時計用電池電圧低下通報	「現場名」、電池の電圧が低下しています。」	「こちらは現場〇〇〇、電池の電圧が低下しています。」
監視開始通報※3	「現場名」、監視を開始しました。」	「こちらは現場〇〇〇、監視を開始しました。」
監視解除通報※3	「現場名」、監視を解除しました。」	「こちらは現場〇〇〇、監視を解除しました。」
DC電源短絡通報	「現場名」、機器異常が発生しました。」	「こちらは現場〇〇〇、機器異常が発生しました。」

※1：「現場名」、「入力名」、「状態名」の詳細については、「任意音声モード」（45ページ）を参照してください。

※2：「通報現場番号」（特殊設定モード）が「※3」の場合

※3：「セキュリティモード」（特殊設定モード）が「セキュリティ」の場合

● 併設電話で通話中に通報があったとき

基本設定モードレベル2における「併設電話切断」の設定内容により以下の動作になります。

『オフの場合』

併設電話の通話が終了した後、回線が待機になったことを確認してから通報動作を行います。

『オンの場合』

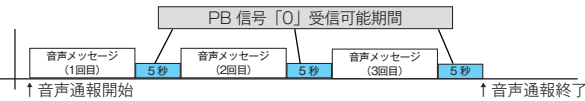
通話を終了する案内メッセージ「通話を終了します」を送出して通話を強制終了します。

その後で回線が待機になったことを確認して通報動作を行います。

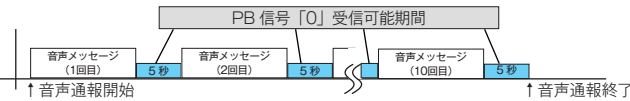
● 本人確認の設定が「ス」のとき

基本設定モードレベル2における「本人確認」の設定内容が「ス」のときは、通報内容が終了してから5秒間に、PB信号「0」を入力してください。本人確認ができない場合は、基本設定モードレベル2における「リトライ回数」により再通報します。

【通報先種別が「オセイ1」の場合】



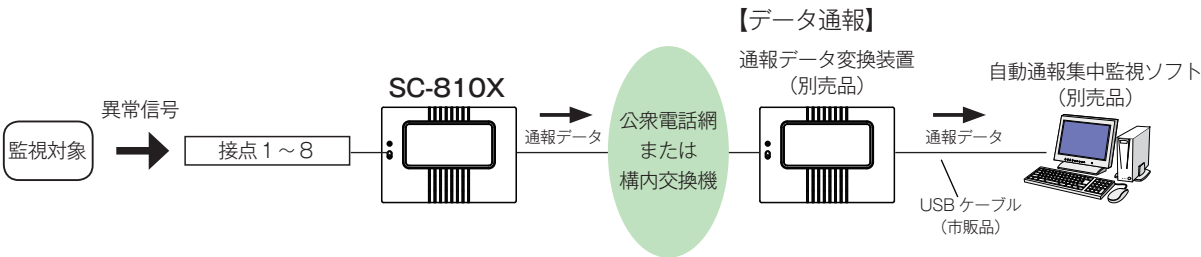
【通報先種別が「オセイ2」の場合】



※「通報先種別」は、基本設定モードレベル1の設定項目です。

データ通報機能

遠隔にある自動通報集中監視ソフトがインストールされた通報先パソコンへ、通報データ変換装置を経由してDTMF通信でデータ通報を行います。

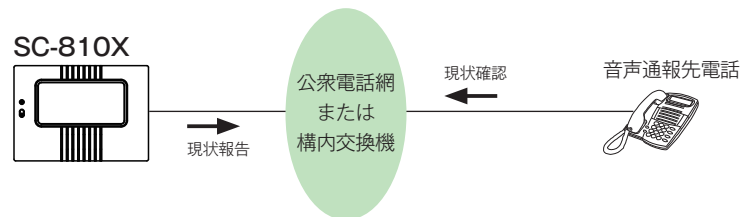


● データ転送

通報データは特殊設定モードにおける「DTMF ON/OFF 時間」の設定時間に準じて転送します。設定方法については40ページを参照してください。

電話による現状確認機能

本装置に対して電話をかけて現在の情報を音声で確認することができます。



基本設定モードレベル2における、「現状確認」を「ｽ」に設定してください。また必要に応じて呼出音回数（初期値：10回）を設定してください。設定についての詳細は「基本設定モードレベル2 現状確認の設定」（26ページ）を参照してください。

■ 音声確認内容

音声による確認内容は以下になります。

状態	報告内容（固定音声）※1	報告例（固定音声の場合）※2、※3
正常	「現場名」、すべて正常です。」	「こちらは現場〇〇〇、すべて正常です。」
異常	「現場名」、「入力名」「状態名」	「こちらは現場〇〇〇、非常事態、継続中、6番異常、継続中。」（2か所の異常がある例）

※1：「現場名」、「入力名」、「状態名」の詳細については、「任意音声モード」（45ページ）を参照してください。

※2：「通報現場番号」（特殊設定モード）が「注3々」の場合

※3：「セキュリティモード」（特殊設定モード）が「セキュリティ」の場合、監視状態のガイダンスも付加されます。

・監視中のガイダンス：「監視を開始しました。」

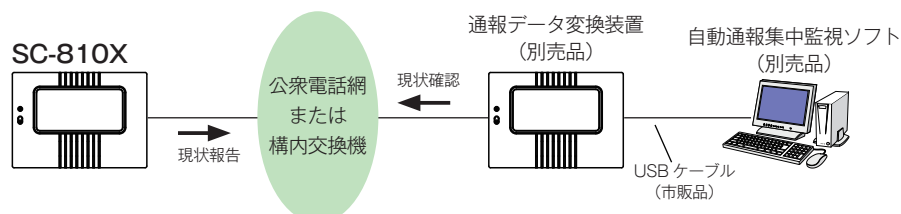
・監視解除中のガイダンス：「監視を解除しました。」

👉 ワンポイント

- 内線電話を使用して本装置に電話をかけた場合、呼出音回数の設定値より少ない回数で着信する場合があります。
- 現状内容確認中に新たな異常が発生した場合は、新たな異常について「・・・継続中」というメッセージを追加して送出します。
- 報告内容は3回繰り返して送出されます。
- 現状確認の報告が終了したときは、基本設定モードレベル2における「ハンズフリー設定」にしたがいます。
 - ・ハンズフリー設定が「ｼｲ」の場合・・・本装置から回線を開放します。
 - ・ハンズフリー設定が「ｽ」の場合・・・自動的にハンズフリー状態になります。
- 報告内容の送出間隔は5秒で設定され、この5秒間にDTMF信号が受信できます。

パソコンによる現状確認機能

本装置に対して、遠隔にある自動通報集中監視ソフトがインストールされたパソコンから、通報データ変換装置を経由して現在の情報をデータ通報機能により確認することができます。データ通報機能の詳細については50ページを参照してください。



STOP お願い

- 基本設定モードレベル1における、「通報先種別」を「データ」に設定してください。設定についての詳細は15ページを参照してください。
- 基本設定モードレベル2における、「現状確認」を「ｽ」に設定してください。また必要に応じて呼出音回数（初期値：10回）を設定してください。設定についての詳細は26ページを参照してください。

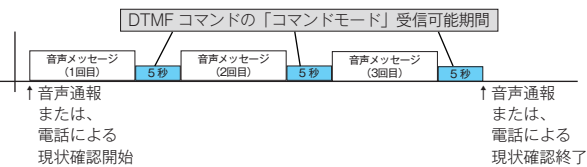
DTMF コマンド受信機能

プッシュホン電話機や携帯電話機から出力される DTMF 信号を使用して、遠隔出力やハンズフリー等が制御できます。音声通報または、電話による現状確認中のときに、DTMF コマンドの「コマンドモード」を受信することで各種のコマンドが受付可能となります。

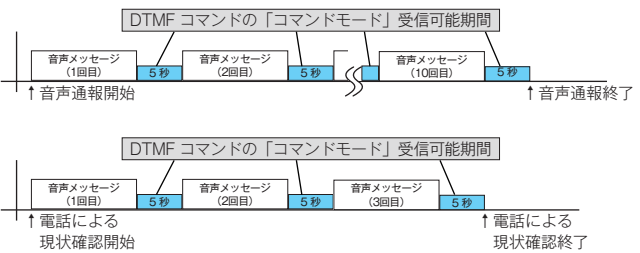
DTMF コマンドの「コマンドモード」の待受期間は、音声メッセージ出力間隔の 5 秒間となります。

※ DTMF コマンドについては、「DTMF コマンド一覧」を参照してください。

【通報先種別が「ワセ 1」の場合】



【通報先種別が「ワセ 2」の場合】



※「通報先種別」は、基本設定モードレベル 1 の設定項目です。

DTMF コマンド一覧

DTMF コマンドには、暗証番号による操作制限をしないコマンドと、暗証番号による操作制限ができるコマンドがあります。

● 暗証番号による操作制限をしないコマンド

暗証番号を入力しないで操作できる DTMF コマンド一覧は以下になります。

【DTMF コマンド一覧】（暗証番号による操作制限をしないコマンド）

コマンド名	動作内容	電話からの操作	音声ガイダンス (正常受付時)	備考
コマンドモード	コマンドモードに移行し、音声の送出を停止します。	[*] を 2 回入力	「コマンドモード」	
暗証番号	暗証番号 4 ケタを入力します。	[#][0][0] + 暗証番号 4 ケタ ※ 1	「ビッ」	※ 4 ※ 5
現状確認	本装置に設定されている全ての接点入力状態を、音声で確認することができます。	[#][4][0]	「現在状態を音声で出力」 ※ 2	※ 4
同時通報終了	同時通報を終了します。※ 3 今回通報できた通報内容は他の同報通報先には通報しないようにします。 (データ通報先には通報します。)	[#][6][0]	「通報終了」	※ 4 ※ 6
回線切断	回線を切断します。	[#][9][0]	—	※ 4

※ 1：暗証番号 [0][0][0][0]（初期値）の場合 ⇒ [#][0][0][0][0][0][0]

※ 2：「現場名音声選択」「入力名音声選択」「状態名音声選択」（基本設定モードレベル 2）にて選択された音声となります。
また、任意音声に設定されていた場合、任意音声の登録が必要です。

※ 3：音声ガイダンスの送出が終了した後で、DTMF コマンド入力待ちとなります。

※ 4：コマンドモードに移行している状態であること。

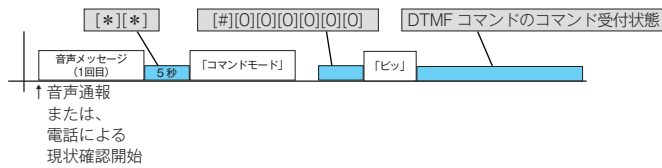
※ 5：「暗証番号設定」（特殊設定モード）が「1707」であること。

※ 6：「通報形態」（基本設定モードレベル 2）が「1707」であること。

● 暗証番号による操作制限ができるコマンド

暗証番号を入力することで操作を制限できる DTMF コマンド一覧は以下になります。対象となるコマンドを入力する前に、〔コマンドモード〕 + 〔暗証番号〕 のコマンドを入力してください。

【コマンド入力イメージ】（暗証番号：0000（初期値）の例）



操作を制限する場合は、「暗証番号設定」（特殊設定モード）を「100」に設定してください。設定方法については 38 ページを参照してください。

【DTMF コマンド一覧】（暗証番号により操作を制限できるコマンド）

コマンド名	動作内容	電話からの操作	音声ガイダンス (正常受付時)	備考
暗証番号変更	暗証番号を変更します。	[#][0][1] +変更後の暗証番号 4 ケタを 2 回繰り返し ※ 1	「ビッ」	
監視開始	監視を開始します。	[#][1][1]	「監視を開始しました」	※ 2
監視解除	監視を解除します。	[#][1][0]	「監視を解除しました」	※ 2
ハンズフリー ON	ハンズフリー通話を開始し、ハンズフリー通話時間を 0 からスタートします。 既にハンズフリー通話中の場合は、ハンズフリー通話時間を 0 から再スタートします。	[#][2][1]	—	※ 3 ※ 4
ハンズフリー OFF	ハンズフリー通話を終了します。	[#][2][0]	—	※ 3 ※ 4
遠隔出力 ON（保持）	遠隔出力を ON（保持）します。	[#][3][1]	「遠隔オン」	※ 5
遠隔出力 OFF（終了）	遠隔出力を強制的に OFF（終了）します。	[#][3][0]	「遠隔オフ」	※ 5
遠隔出力 ON (本体ワンショット)	遠隔出力を本体で設定された時間だけ ON します。	[#][3][2]	「遠隔オン」	※ 5
遠隔出力 ON (DTMF ワンショット)	遠隔出力を DTMF で設定された時間だけ ON します。	[#][3][3] +時間 2 ケタ ※ 6	「遠隔オン」	※ 5

※ 1：暗証番号を（1234）に変更する場合 ⇒ [#][0][1][1][2][3][4][1][2][3][4]

※ 2：「セキュリティモード」（特殊設定モード）が「セキュリティモード」であること。

※ 3：ハンズフリー ON / OFF はコマンド操作をしている間だけ有効です。

※ 4：ハンズフリー中であっても、コマンド入力に対する音声ガイダンス送出時は、ハンズフリーが OFF されます。

※ 5：「遠隔出力時間」（基本設定モードレベル 2）についても併せて参照してください。

※ 6：設定できる時間は 01 ～ 99 秒です。

（例）遠隔出力時間を 9 秒だけ ON にする場合の電話からの操作 ⇒ [#][3][3][0][9]

暗証番号により操作を制限できるコマンドは、「暗証番号設定」（特殊設定モード）を「100」に設定することで、暗証番号を入力しないでコマンドが入力できます。（ただし「暗証番号変更」コマンドは除きます。）

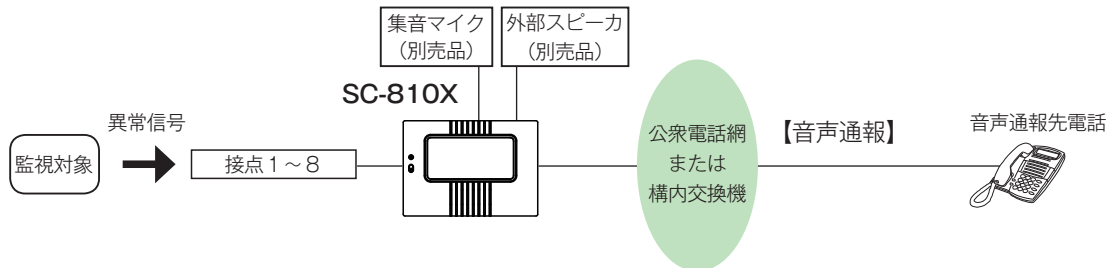
👉 ワンポイント

- DTMF コマンドモード中の併設電話機は使用できません。（受話器を上げても無音状態となります。）
- 音声メッセージ送出中は DTMF コマンドの受け付けはできません。
- DTMF コマンドを送る際は、1 つのコマンド入力中に間を 5 秒以上空けないでください。5 秒以上間を空けるとその DTMF コマンドはキャンセルされます。
- コマンドモードに移行した後は、有効なコマンドが 3 分間入力されなければ、本装置は電話回線を切断します。
- ハンズフリー ON 中にコマンド入力すると、ハンズフリー通話は終了します。
- DTMF コマンドは、電話による現状確認時にも有効です。（ただし「同時通報終了」は対象外です。）

ハンズフリー通話機能

集音マイクと外部スピーカを併用することにより、音声通報先との簡易的な通話が可能です。ハンズフリー通話状態では集音マイクと外部スピーカを電話回線に接続します。

目的に応じて集音マイクのみ、または外部スピーカのみでのご使用も可能です。



基本設定モードレベル2における、「ハンズフリー設定」および「ハンズフリー通話時間」を設定してください。詳細については22,23 ページを参照してください。

ワンポイント

- DTMF コマンドでハンズフリー通話の開始／終了を制御できます。詳細については53 ページを参照してください。
- ハンズフリー通話中にDTMF コマンドでコマンドモードに入るとハンズフリー通話は終了して、有効なコマンドが3分間入力されなければ、本装置は電話回線を切断します。
- 「基本設定モードレベル2 本人確認の設定」（34 ページ）における本人確認を“スル”に設定している場合は、本人確認後にハンズフリー通話に切り替わります。

STOP お願い

- 集音マイクと外部スピーカは付属していません。別売品を別途お求めください。
- 通話距離は集音マイクと外部スピーカの設置場所などの設置環境に依存します。
- 「基本設定モードレベル2 現状確認の設定」（26 ページ）における現状確認を“スル”に設定して設置時には外付けマイクとスピーカに内蔵するボリューム調整が必要です。ハウリングが発生しないように最適な設置場所を選び、ボリューム調整を行ってください。

停電用内部電池の交換

SC-810X では停電用内部電池が保守対象品になっています。
ご購入後、3年を経過しましたら、交換してください。
周囲温度が 30℃以上であったり、放電回数が多くと寿命が短くなりますので、早めの交換をお勧めします。

寿命を過ぎてバッテリーを使用し続けると、発煙や火災の原因になります。

交換時に液もれ等の異常がある場合は直接触らないでください。

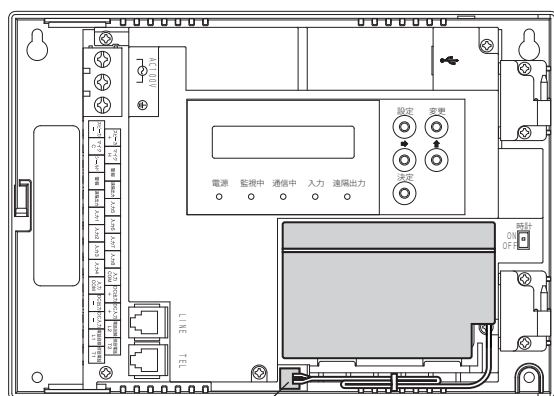
また、停電用内部電池本体に貼ってある注意事項などもあわせてご確認ください。

停電用内部電池は次のようにして交換します。

1 本装置の電源供給を停止して、カバーを開けます。

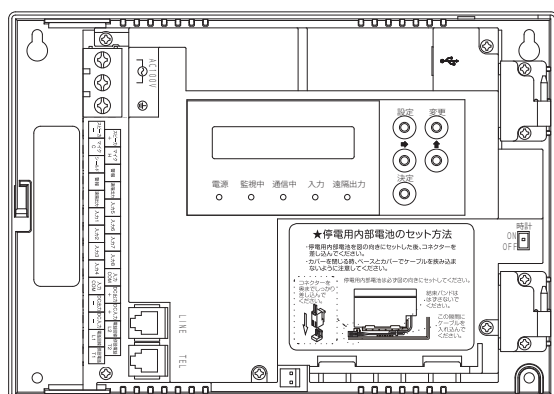
* カバーの開け方は、8 ページをご覧ください。

2 停電用内部電池の結末をコネクタからはずします。



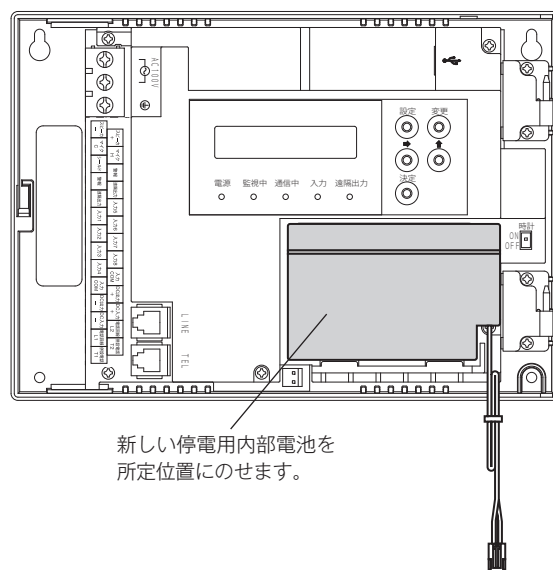
コネクタからはずします。

3 停電用内部電池を取り出します。



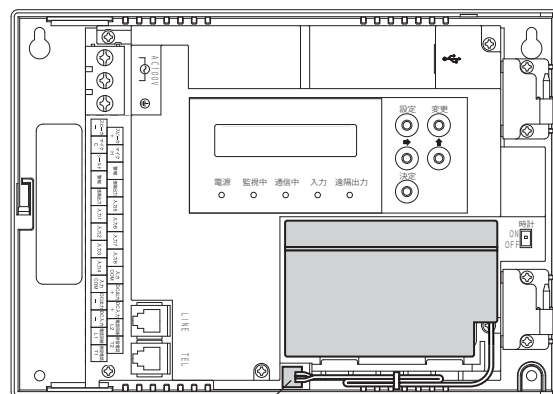
停電用内部電池を
取り出します。

4 新しい停電用内部電池をのせます。



新しい停電用内部電池を
所定位置にのせます。

5 新しい停電用内部電池の結末をコネクタに差し込みます。



コネクタに接続します。

6 カバーを閉めて、本装置の電源供給を開始します。

7 必要に応じてカバーをロックします。

* カバーのロックのしかたは、8 ページをご覧ください。

ワンポイント

● 停電用内部電池について

・ 型番 …………… FML1208W1

主な仕様

項目		仕様
電話回線	収容回線数	1 回線
	回線種別	アナログ一般回線（ダイヤル (10pps, 20pps, プッシュ)） / ピンク電話回線 ※1
	接続方式	端子 / モジュラージャック
併設電話機	タイプ	アナログ電話機
	接続方式	端子 / モジュラージャック
通報先	登録数	最大 10 ヶ所
	登録桁数	最長 20 桁（ポーズも含む）
任意音声	録音数	12ch（現場名 1ch、入力名 8ch、状態名 3ch）
	録音形式	μ -law 8bit、8kHz サンプリング
	録音時間	最大 130 秒 （現場名 1ch(20s/ch)、入力名 8ch(10s/ch)、状態名 3ch(10s/ch)）
固定音声	録音形式	μ -law 8bit、8kHz サンプリング
通報種別		5 種類（異常発生・復旧（接点入力 1 ～ 8、停電）、定期、時計用電池電圧低下、監視開始・解除、DC 電源短絡）
異常通報ログ		最大 29 ログ
監視時間帯設定		監視開始時間 00:00 ～ 23:59、監視終了時間 00:00 ～ 23:59
外部入力端子	接点数	8 接点（接点状態 A/B、判定時間・通報先の選択可）
	ON のときの抵抗値	10 Ω 以下
外部出力端子	接点数	2 接点（無電圧接点出力） 遠隔出力 1 接点、警報出力 1 接点
	接点容量（最大）	DC24V 1.6A（抵抗負荷）
外部出力電源	電圧	DC12V 200mA ※2
環境条件	使用温度、動作湿度	0℃～40℃、20%～80%
	保存温度範囲	-10℃～50℃
USB 接続	接続方式	mini-B コネクタ（バスパワー駆動なし）
	インタフェース	USB2.0/1.1
外形寸法		幅 240mm × 奥行き 170mm × 高さ 54mm
質量		約 850g（停電用内部電池含まず）
電源	電圧、周波数	AC100 V \pm 10%、50/60Hz DC 入力 12V ～ 24V（10.5 ～ 26.4V） 140mA ※3
	消費電力	9 W
停電用内部電池	容量	DC12V、800mAh（小型シール鉛蓄電池）
	充電時間	約 140 時間

※1：デジタル回線（ISDN 回線）には、ターミナルアダプタ（TA）を使用することにより接続できる場合があります。

※2：DC 入力動作時は、出力しません。

※3：DC 入力動作時は、停電用内部電池の充電は実施しません。

故障とお考えになる前に

こんなときは	お確かめください	想定される原因	参考 ページ
接点入力に異常が入った にも関わらず、通報しな い。	電源ランプが消灯していませんか？	電源が供給されていない。	10
	監視中ランプが消灯していませんか？	監視モードになっていない。	13
		監視時間外である。	31
		監視解除状態である。	37
	入力ランプが消灯していませんか？	接点入力の判定時間が長すぎる。	25
	入力ランプが点灯しているのに、通報しない？	通報先電話番号が正しく設定されていない。	14
	通信中ランプが消灯していませんか？	接点入力に通報先が設定されていない。	25
		通報先電話番号が設定されていない。	14
		併設電話機が使用中である。	34
	通信中ランプが点灯しているのに、通報しない？	回線種別が間違っている。	18
		回線に異常がある。	—
ISDN 回線に直接接続している。		56	
セキュリティ監視解除中 に通報される。	対象の接点がセキュリティ監視対象になっていますか？	対象接点のセキュリティ監視対象設定が「セキュリティ」 になっていない。	39
電話による現状確認がで きない	セキュリティモードが正しく設定されていますか？ 監視時間帯になっていますか？	セキュリティモードが“オフ”に設定されていて、 監視時間帯以外で現状確認を行った。	36 31
	接続する電話回線がナンバーディスプレイの契約をし ていますか？	ベル ON 検出時間が「600ms」になっていない。	42
	接続する電話回線に内線を使用していますか？	ベル OFF 検出時間が「100ms」になっていない。	41
電話での通報で音声合成 メッセージがおかしい。 もしくは、音声合成メッ セージが聞こえない。	通報先種別が正しく設定されていますか？	通報先種別が「データ」になっている。	15
	現場名／入力名／状態名の音声選択設定が正しく設定 されていますか？	各種の音声選択設定が「ナ」になっている。	21,22
	任意音声为正しく録音されていますか？	メッセージが録音されていない。	45～47
DTMF コマンドを受け付 けない。	プッシュホン信号を送信していますか？	ダイヤルパルス信号を送信している。	—
	コマンドモードになっていますか？	「コマンドモード」を送信していない。	52
	暗証番号が設定されていませんか？	暗証番号が設定されている場合は先に暗証番号を 入力してください。	38,52
ハンズフリー通話ができ ない。	集音マイク、外部スピーカの ・接続は正しく接続されていますか？ ・電源はONしていますか？ ・ボリュームが絞られていませんか？	集音マイク、外部スピーカの ・接続が正しく接続されていない。 ・電源が OFF である。 ・ボリュームが絞られている。	10
意図しない時、定期通報 される。	監視モードの時、手動で定期通報しませんでしたか？ (メンテナンス通報をしましたか？)	手動で「決定」を3秒以上長押しした。 (メンテナンス通報をした)	24
「決定」を3秒以上長押し しても定期通報されな い。(メンテナンス通報 されない)	定期通報は「スル」に設定されていますか？	定期通報が「ソイ」に設定されている。	23
	監視モードでメンテナンス通報しましたか？	各種モードの設定操作中にメンテナンス通報を実 施した。	24
	通報形態の設定が「ジョブ」となっていないですか？	複数の定期通報先を設定している場合には、通報 形態を「ドグ」に設定すると、より確実に通報さ れます。	29

保証とアフターサービス

- 本書は、下記記載の保証条件で無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社営業所に修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。お買い上げ店または当社営業所へお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、通話などの利用機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保証書	型名 / 保証期間	セキュリティ自動通報装置 SC-810X / お買い上げから1年間
	お買い上げ日	年 月 日
	お名前	
	ご住所	〒
	電話番号	
	名前	
	住所	〒
	電話番号	

保証条件

- 1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社営業所が無料修理いたします。
- 2 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社営業所に製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。
- 3 保証期間内であっても、次の場合は有料修理となります。
 - ① 保証書の提示がない場合
 - ② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
 - ③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
 - ④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
 - ⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
 - ⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
 - ⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
 - ⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
 - ⑨ 消耗品を交換した場合
- 4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 6 ご贈答品、ご転居後の修理については、最寄りの当社営業所にご相談ください。

■ 免責事項について ■

- 弊社の商品は各種の監視、警戒、報知、起動、威嚇、忌避、制御、護身、ヘルスケア用途などに使用するもので盗難防止器、犯行防止器、災害防止器、環境破壊防止器、人身事故防止器ではありません。万一発生した盗難事故、人身事故、災害事故、環境破壊事故、施工上の不備などによる事故損害については責任を負いかねます。
- 本商品の取り付け、取りはずし時の事故で発生した怪我、損害については、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品の取り付け、取りはずしによる建物などへの損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 地震・雷（誘導雷サージを含む）および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信上の損失・機会消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 保守点検や施工上の不備、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作（誤報・失報を含む）などから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品に関していかなる場合も、弊社の費用負担は本商品の価格内とします。

竹中センサーグループ
TAKEX 竹中エンジニアリング株式会社

セスコン事業部

事業本部 〒607-8156 京都市山科区東野五条通外環西入83-1 TEL (075) 594-7211 (代) FAX (075) 501-2085
札幌・仙台・郡山・高崎・さいたま・千葉・東京・立川・横浜・長野・静岡・名古屋・金沢・京都・大阪・神戸・広島
高松・福岡・熊本・U.S.・U.K.・AUS.

<http://www.takex-eng.co.jp/>

●仕様など予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

*品質に関しては、当社の品質保証規定に基づき保証させていただきます。
万一不具合な点がございましたら、お買上の販売店にお申し出ください。

S071-1309

P1MK07020070R Sep. 2013